

都立高校に関する 都民意識調査

平成29年3月

東京都教育委員会

目 次

第1章 調査の目的及び調査内容.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査方法.....	1
3 調査実施状況.....	2
4 集計・分析に当たって.....	2
第2章 調査1「都民を対象とした調査結果の分析」.....	3
1 回答者の属性.....	3
2 都立高校の印象について.....	7
3 都立高校への期待について.....	9
4 高校を選択した理由や満足度について.....	10
5 専門高校・定時制高校について.....	18
6 都立高校の教育内容について.....	21
7. これからの都立高校はどうあるべきか（自由意見）.....	28
第3章 調査2「企業及び学校を対象とした調査結果の分析」.....	29
1 新卒者の採用について.....	29
2 社会に出るに当たり身に付けてきてほしいこと.....	33
3 職場見学等の状況について.....	35
4 学校の形態.....	37
5 入学してきた学生の印象について.....	38
6. 都立高校の印象について.....	42
7 都立高校の役割について.....	44
8 これからの都立高校はどうあるべきか（自由意見）.....	46

第1章 調査の目的及び調査内容

1 調査の目的

都立高校に対する都民や企業・大学等の評価について分析するとともに、都民や企業・大学等の都立高校に対するニーズを把握し、今後の都立高校の在り方の検討の参考とする。

2 調査方法

(1) 調査対象者

① 調査1

- ・東京都に居住する19歳以上60歳以下の方 2,500人
- ・東京都に居住する高校生 500人

② 調査2

- ・東京都で営業する企業 300社
- ・東京都内の大学・短期大学 100校
- ・東京都内の専門学校 100校

(2) 調査対象者の抽出方法

① 調査1 (二段階抽出法により実施)

*住民基本台帳を活用し、地域・人口バランスを考慮した二段階抽出法によって調査対象者を抽出

1) 対象地区の設定

- ・島しょ部を除く10地区毎の人口比で調査地点数を設定

2) 対象地区の抽出

- ・10地区に属する区市町村から町丁目を単位として、乱数を使用して無作為に対象地区を抽出

3) 対象者の抽出

- ・該当地区に属する調査対象者を、住民基本台帳から乱数を使用して無作為に抽出

② 調査2

1) 東京都で営業する企業

- ・「大企業」「中小企業」「小規模企業」を対象に企業規模や業種の構成比を考慮した無作為抽出

2) 東京都内の大学・短期大学

- ・都内の「国公立」「私立」「短期」大学の構成比を考慮して、各形態別に無作為抽出

3) 東京都内の専門学校

- ・都内全ての「専門学校」から無作為抽出

(3) 調査方法

① 調査1

- ・郵送による配布・回収方式(対象者に「調査票1」を送付)

② 調査2

- ・郵送による配布・回収方式(対象者に「調査票2」を送付)

3 調査実施状況

(1) 調査実施期間

平成 28 年 11 月 15 日から同年 12 月 31 日まで

(2) 調査票回収数

① 調査 1

- | | | |
|---------------------------|-------|------------|
| ・東京都に居住する 19 歳以上 60 歳以下の方 | 999 票 | 回収率： 40.0% |
| ・東京都に居住する高校生 | 153 票 | 回収率： 30.6% |

② 調査 2

- | | | |
|---------------|------|------------|
| ・東京都で営業する企業 | 95 票 | 回収率： 31.7% |
| ・東京都内の大学・短期大学 | 58 票 | 回収率： 58.0% |
| ・東京都内の専門学校 | 60 票 | 回収率： 60.0% |

(3) 調査実施機関

株式会社 サンビジネス

4 集計・分析に当たって

- ・回答比率 (%) は、小数点第 2 位を四捨五入して算出した。よって、回答比率の合計が 100%にならない場合がある。
- ・複数回答して頂いた設問の回答比率は、各項目の回答数に対して対象者数を母数として算出した。よって、全項目の回答比率の合計は 100%を超える。

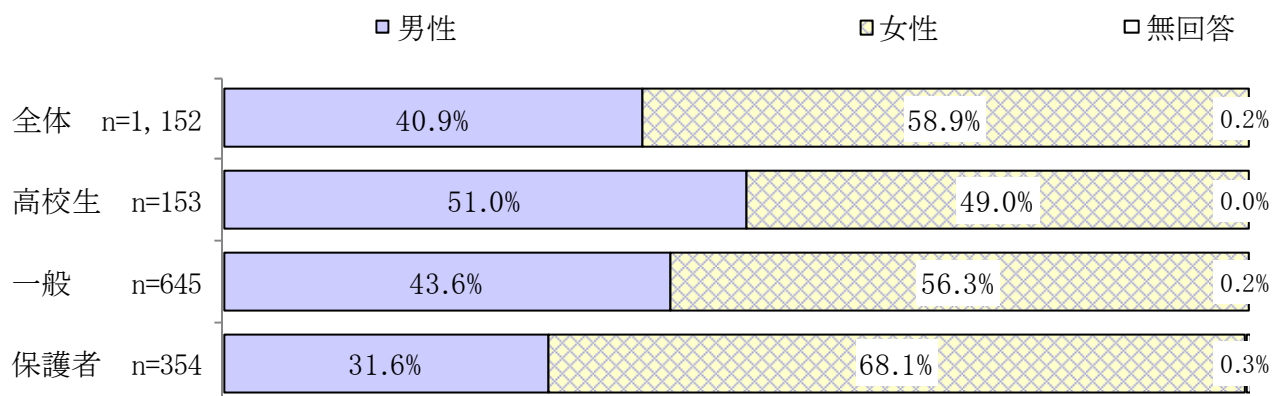
第2章 調査1 「都民を対象とした調査結果の分析」

1 回答者の属性

1-1 性別

問1 あなたの性別を御回答ください。

【都民】

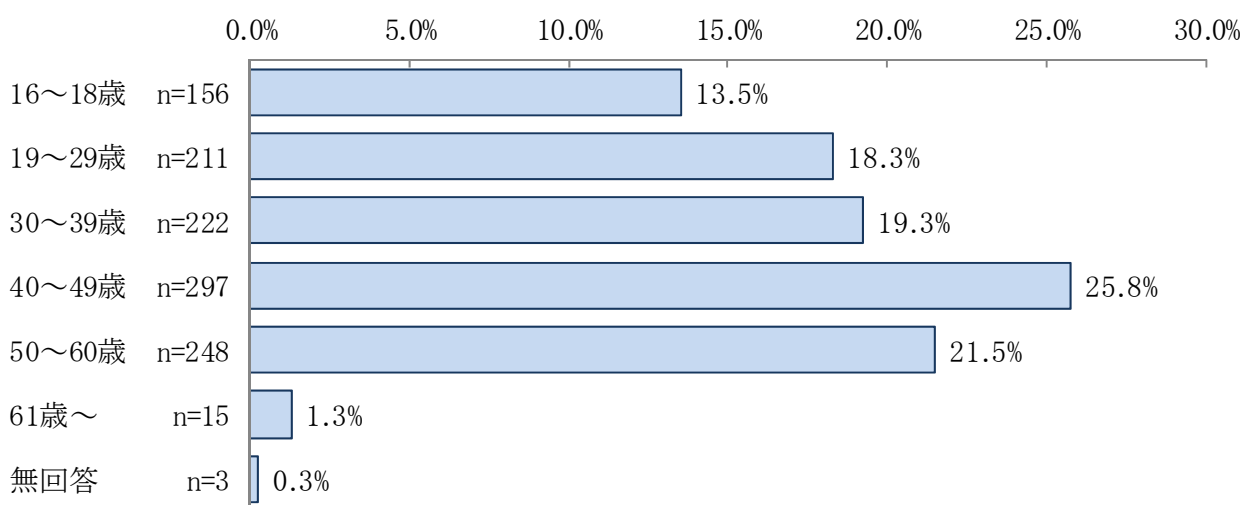


1-2 年齢

問2 あなたの年齢を御回答ください。

(平成29年3月31日時点の年齢に該当するものに○)

【都民】



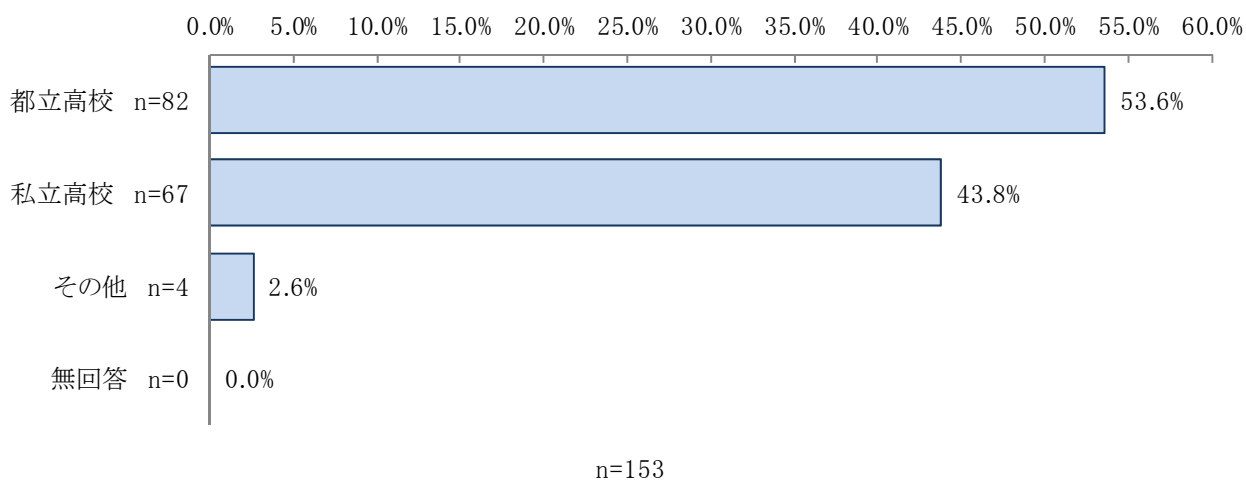
n=1,152

1-3 在学学校の形態

◎高校生の方のみにお聞きします。

問3 あなたの在学している学校は次のどれですか。

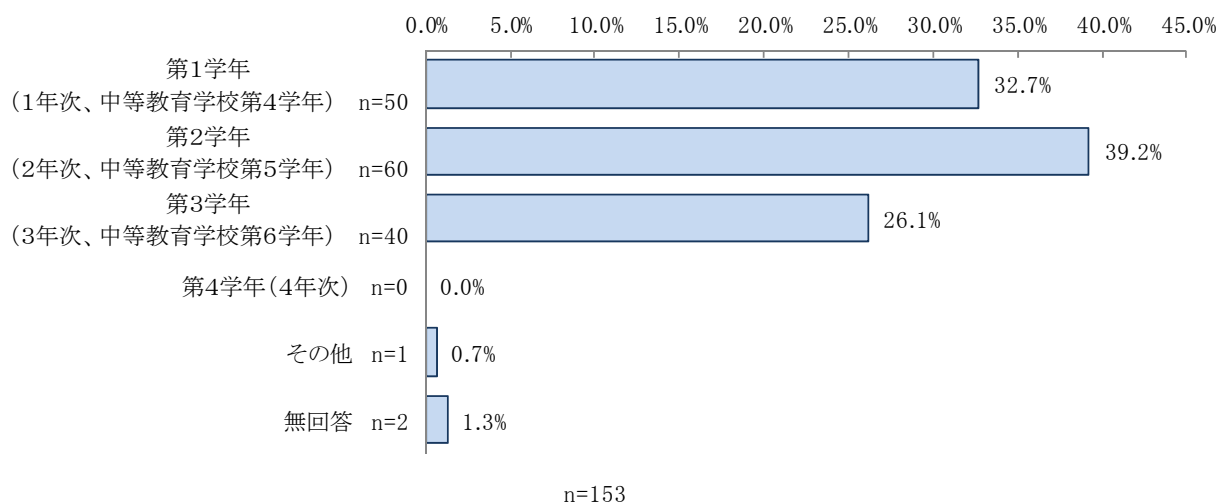
【高校生】



1-4 学年

問4 あなたの学年（年次）は次のどれですか。

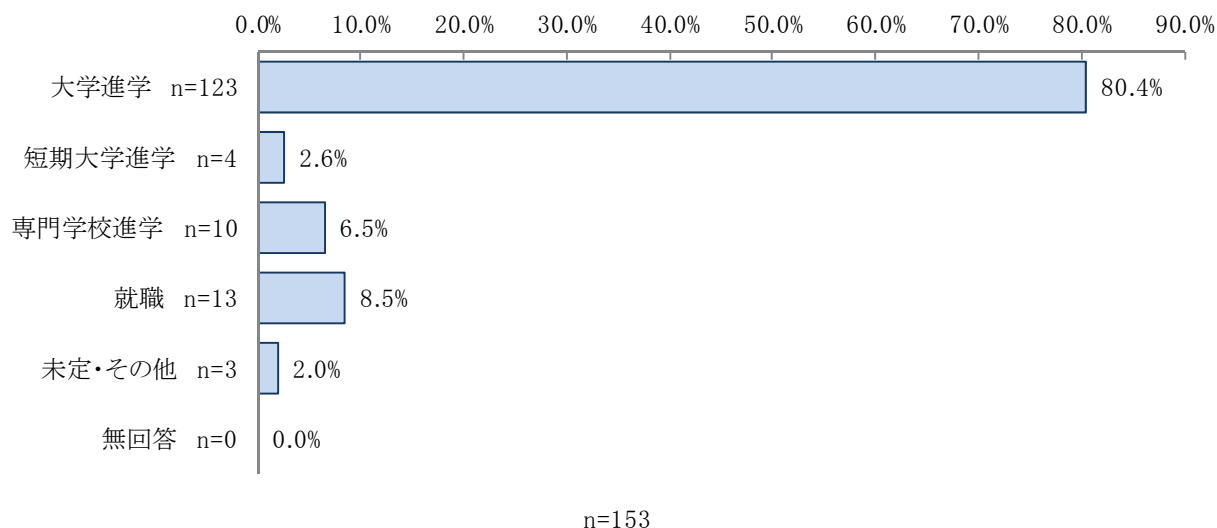
【高校生】



1-5 卒業後の進路

問5 現在考えている高校卒業後のあなたの進路志望は次のどれですか。

【高校生】

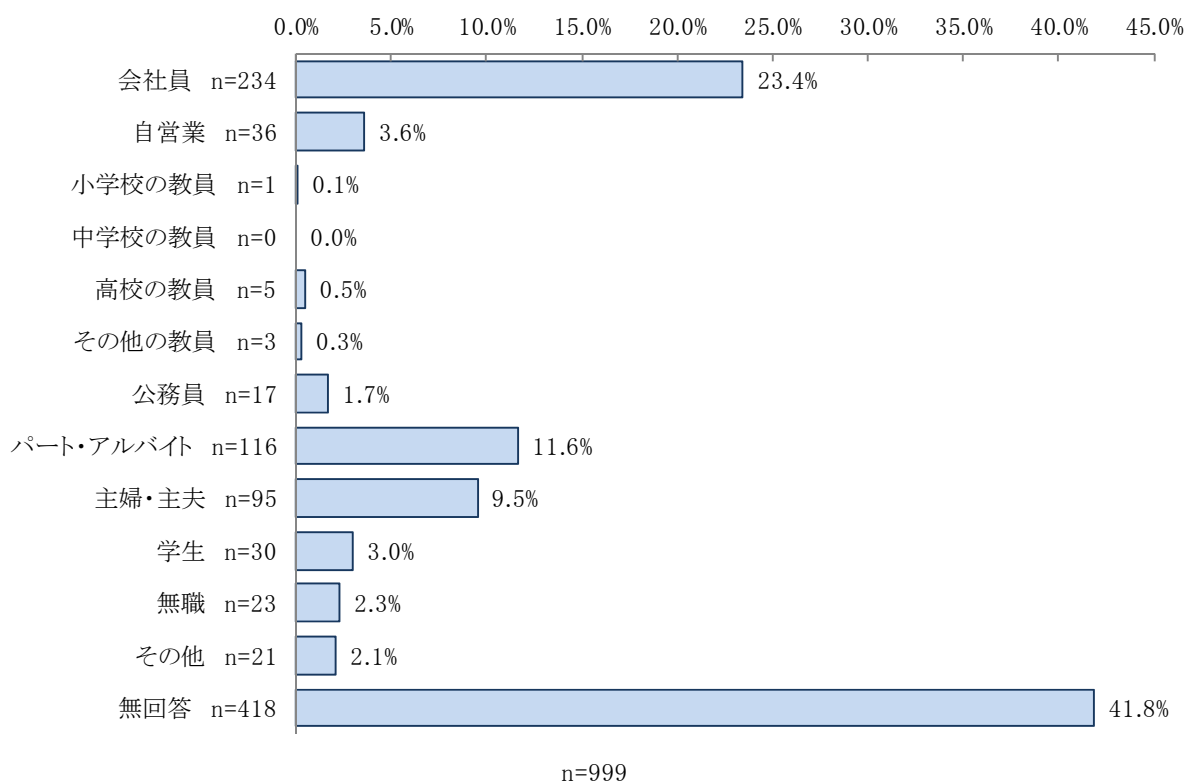


1-6 職業

◎高校生以外の方のみにお聞きします。

問6 あなたの職業は次のどれですか。(主なもの一つに○)

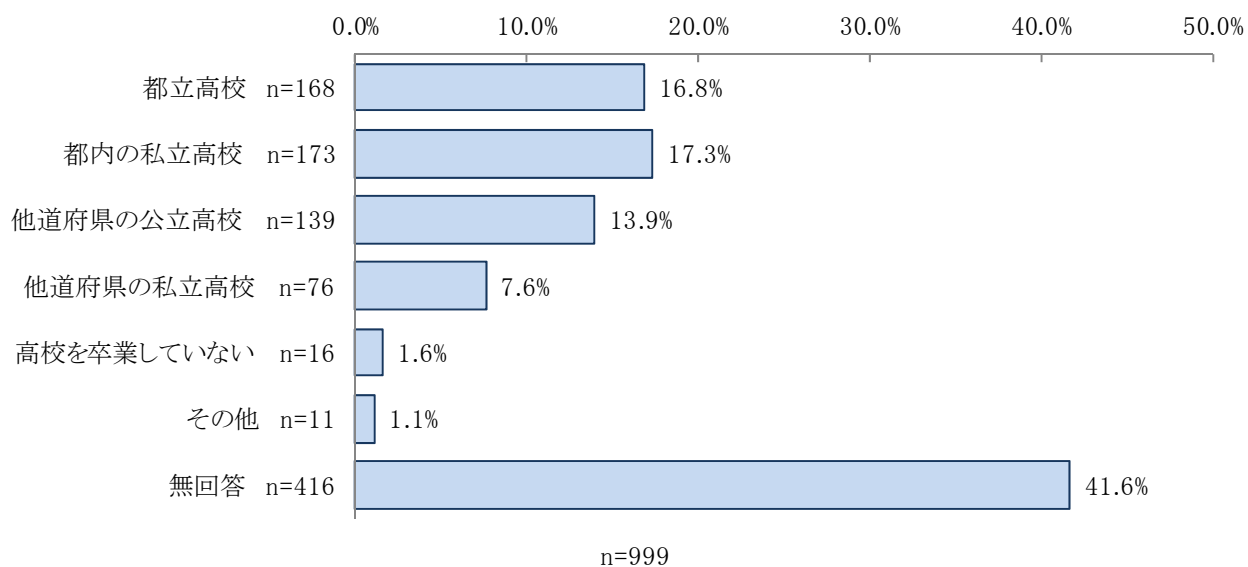
【一般都民】



1-7 卒業高校の形態

問7 あなた御自身が卒業した高校は次のどれですか。(一つに○)

【一般都民】

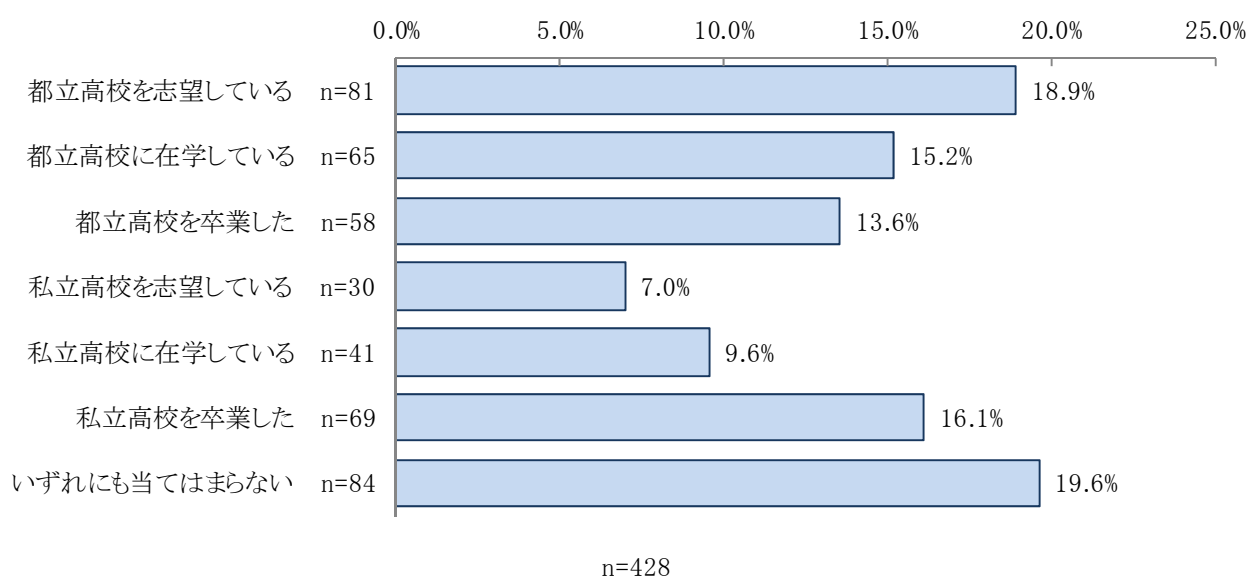


1-8 子供の状況

◎お子様がいらっしゃる方のみにお聞きします。

問8 あなたのお子様の状況は次のどれですか。(当てはまるもの全てに○)

【保護者】

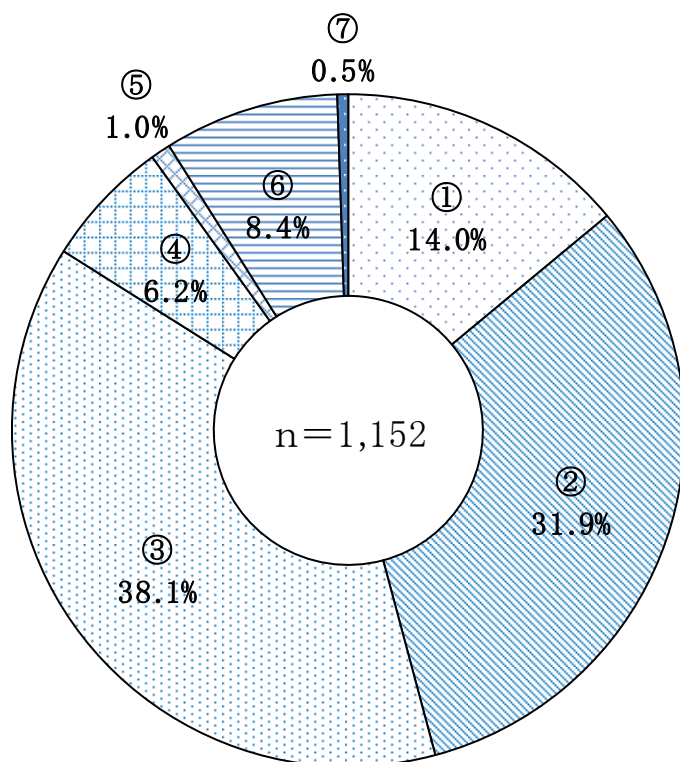


2 都立高校の印象について

2-1 都立高校の印象

問9 あなたは都立高校についてどのような印象をお持ちですか。(一つに○)

【都民】



- ① 良い印象がある
- ② どちらかというの良い印象がある
- ③ どちらとも言えない
- ④ どちらかというの悪い印象がある
- ⑤ 悪い印象がある
- ⑥ 分からない
- ⑦ 無回答

—都立高校の印象については、肯定的印象が45.9%と多い—

都立高校の印象について、「良い印象がある」「どちらかというの良い印象がある」を合わせた肯定的印象が45.9%で、「悪い印象がある」「どちらかというの悪い印象がある」を合わせた否定的印象の7.2%より多くなっている。

また、「どちらとも言えない」が38.1%となっている。

<前回調査 (H23) との比較>

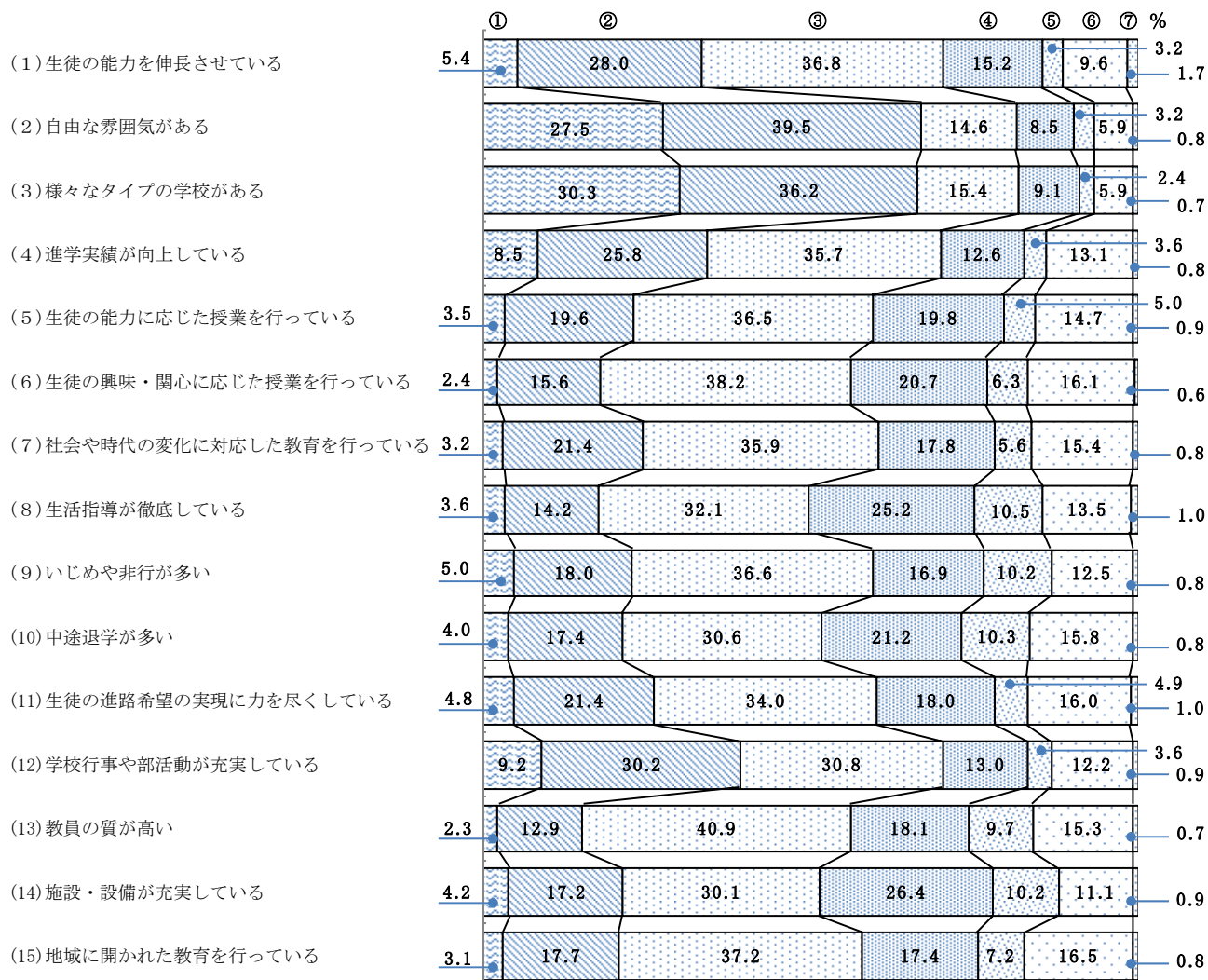
・「肯定的印象」	8.7ポイント増加	(37.2% → 45.9%)
・「否定的印象」	5.7ポイント減少	(12.9% → 7.2%)
・「どちらとも言えない」	4ポイント減少	(42.1% → 38.1%)

2-2 都立高校の項目別印象

問10 都立高校の印象は、それぞれどれに該当しますか。(項目ごとに一つ〇)

【都民】

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答



n=1,152

一項目別に見ると、「自由な雰囲気がある」「様々なタイプの学校がある」には肯定的印象が多く、「施設・設備が充実」「生活指導が徹底している」等では否定的印象が多い。

「自由な雰囲気がある」について、「そう思う」「多少そう思う」を合わせた肯定的印象が67.0%と最も多く、次いで「様々なタイプの学校がある」の66.5%となっている。

一方、「そう思わない」「あまりそう思わない」を合わせた否定的印象は「施設・設備が充実している」が36.6%と最も多く、次いで「生活指導が徹底している」の35.7%となっている。

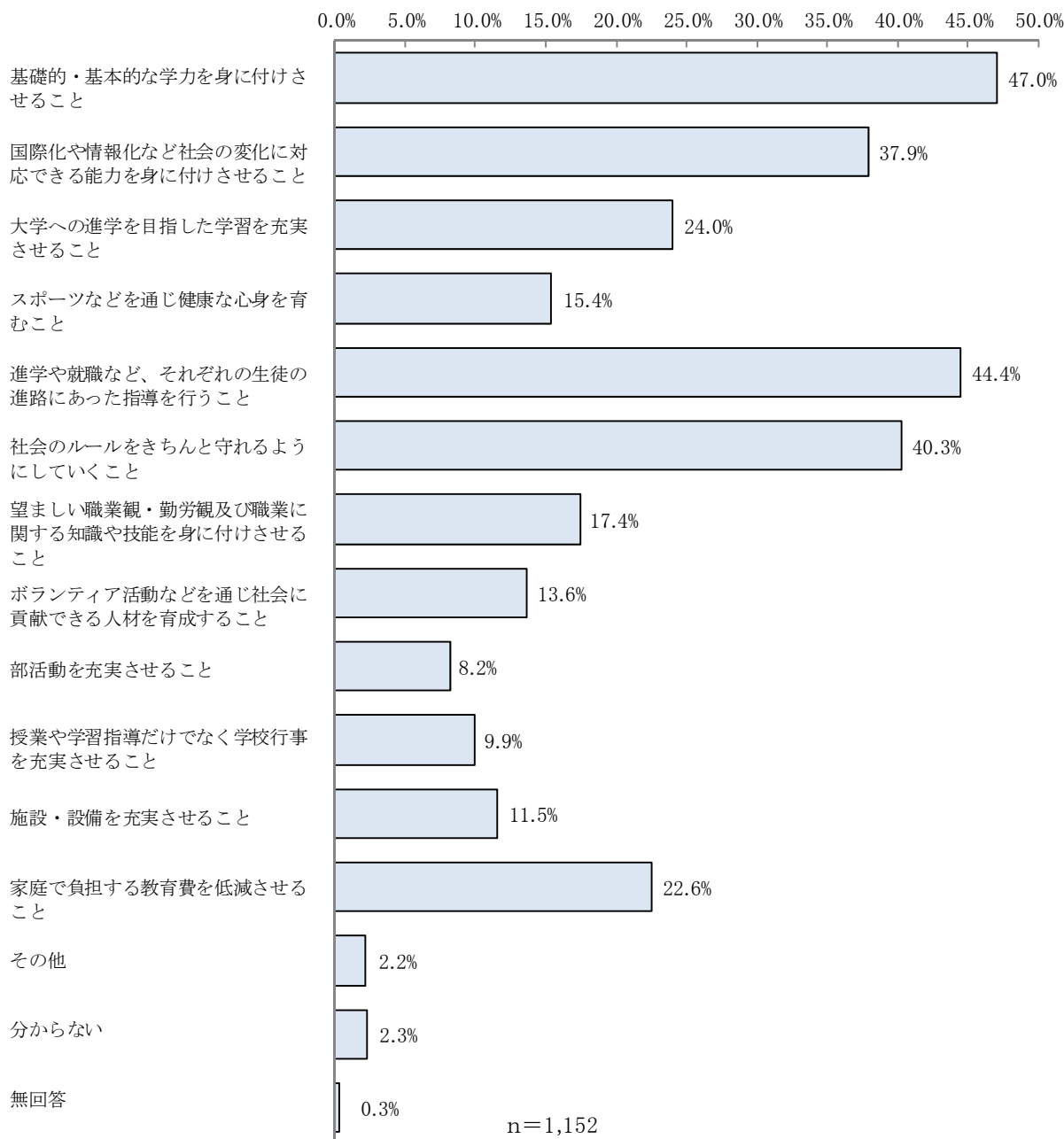
< 前回調査 (H23) >

「自由な雰囲気がある」「様々なタイプの学校がある」には肯定的印象が多く、「生活指導が徹底している」「施設・設備が充実」は否定的印象が多い。

3 都立高校への期待について

問 11 都立高校に特に期待することは次のどれですか。(三つに〇)

【都民】



— 都立高校に期待する役割については、「基礎的・基本的な学力を身に付けさせること」が 47.0%と多い —

都立高校に期待する役割について、「基礎的・基本的な学力を身に付けさせること」が 47.0%と最も多く、次いで「進学や就職など、それぞれの生徒の進路にあった指導を行うこと」の 44.4%、「社会のルールをきちんと守れるようにしていくこと」の 40.3%、「国際化や情報化など社会の変化に対応できる能力を身に付けさせること」37.9%となっている。

< 前回調査 (H23) >

「基礎的・基本的な学力を身に付けさせること」が 51.5%と多い。

4 高校を選択した理由や満足度について

4-1 高校を選んだ理由

◎あなたかあなたのお子様が、都立高校や私立高校に在学中、あるいは卒業された方にお聞きします。

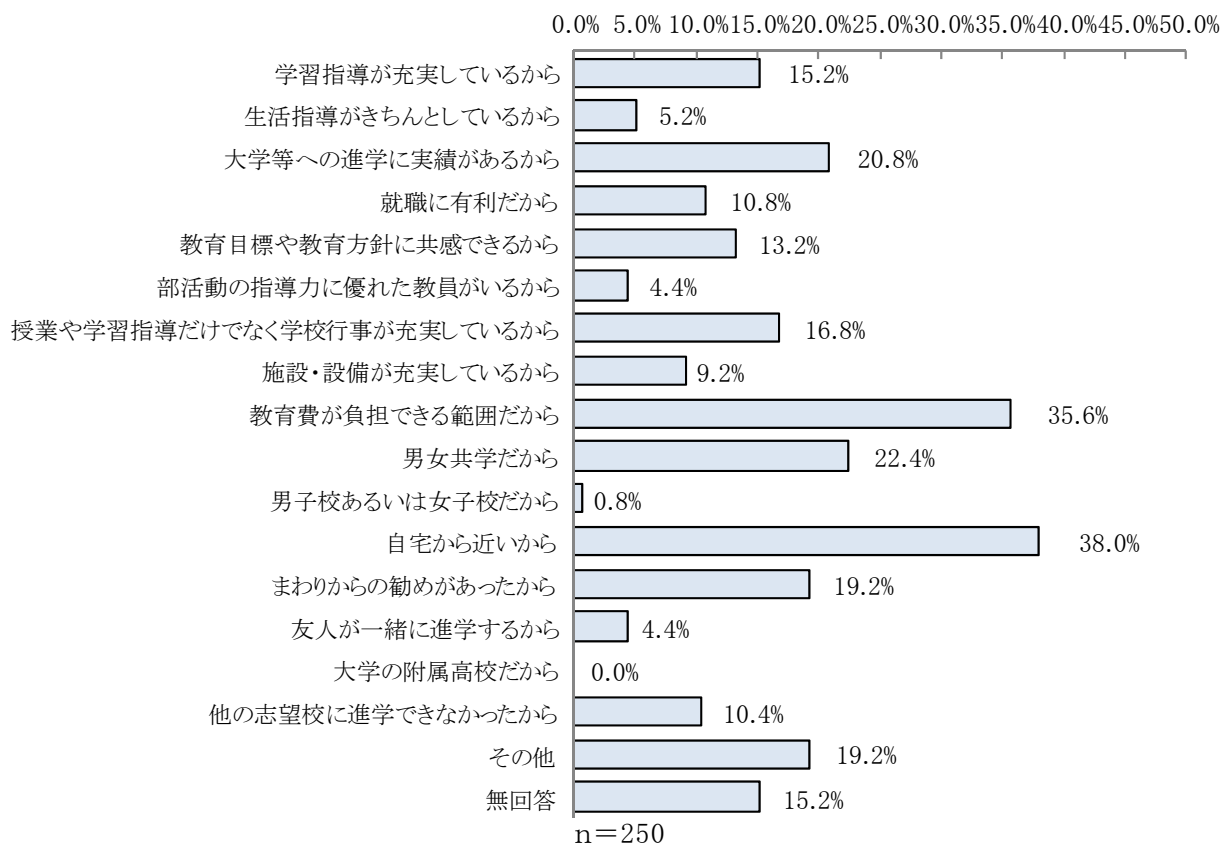
問 12 高校をお選びになった理由をお答えください。

- (1) あなたの状況（問 12-1, 問 12-2, 問 12-3, 問 12-4）に当てはまるもの全てに○
(2) 「高校をお選びになった理由」を以下より選んでください。

(問 12-1) あなた御自身が都立高校に在学中、あるいは卒業している。(三つに○)

○ 本人が都立高校に在学中、あるいは卒業

〈 選んだ理由 〉



— 都立高校に在学中、あるいは卒業した人が高校を選んだ理由については、「自宅から近いから」が 38.0% と多い —

都立高校を選んだ理由について、「自宅から近いから」が 38.0% と最も多く、次いで「教育費が負担できる範囲だから」の 35.6%、「男女共学だから」の 22.4% となっている。

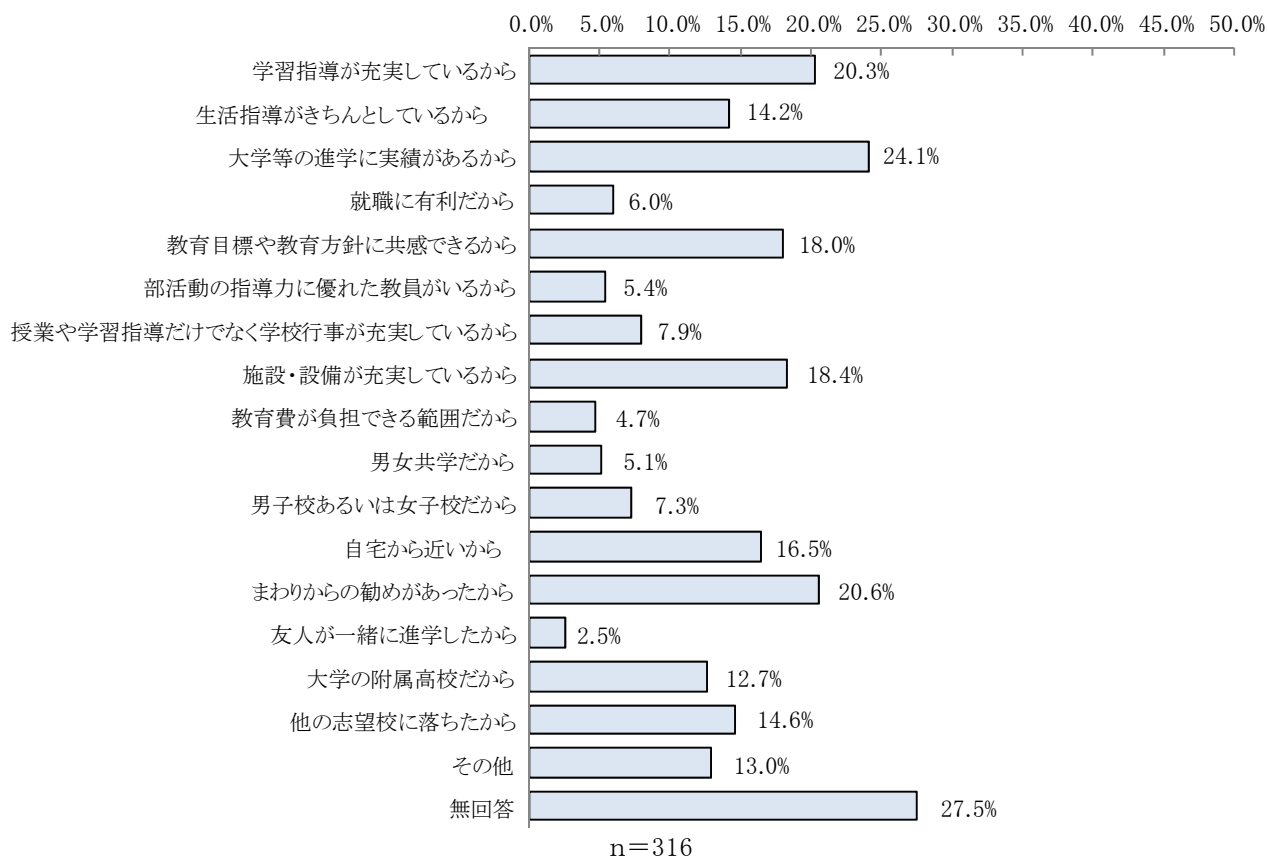
＜ 前回調査 (H23) ＞

「教育費が負担できる範囲だから」が 50.1% と多い。

(問 12-2) あなた御自身が私立高校に在学中、あるいは卒業している。(三つに〇)

〇 本人が私立高校に在学中、あるいは卒業

〈 選んだ理由 〉



—私立高校に在学中、あるいは卒業した人が高校を選んだ理由については、「大学等の進学に実績があるから」が24.1%と多い—

私立高校を選んだ理由について、「大学等の進学に実績があるから」が24.1%と最も多く、次いで「まわりからの勧めがあったから」が20.6%、「学習指導が充実しているから」が20.3%となっている。

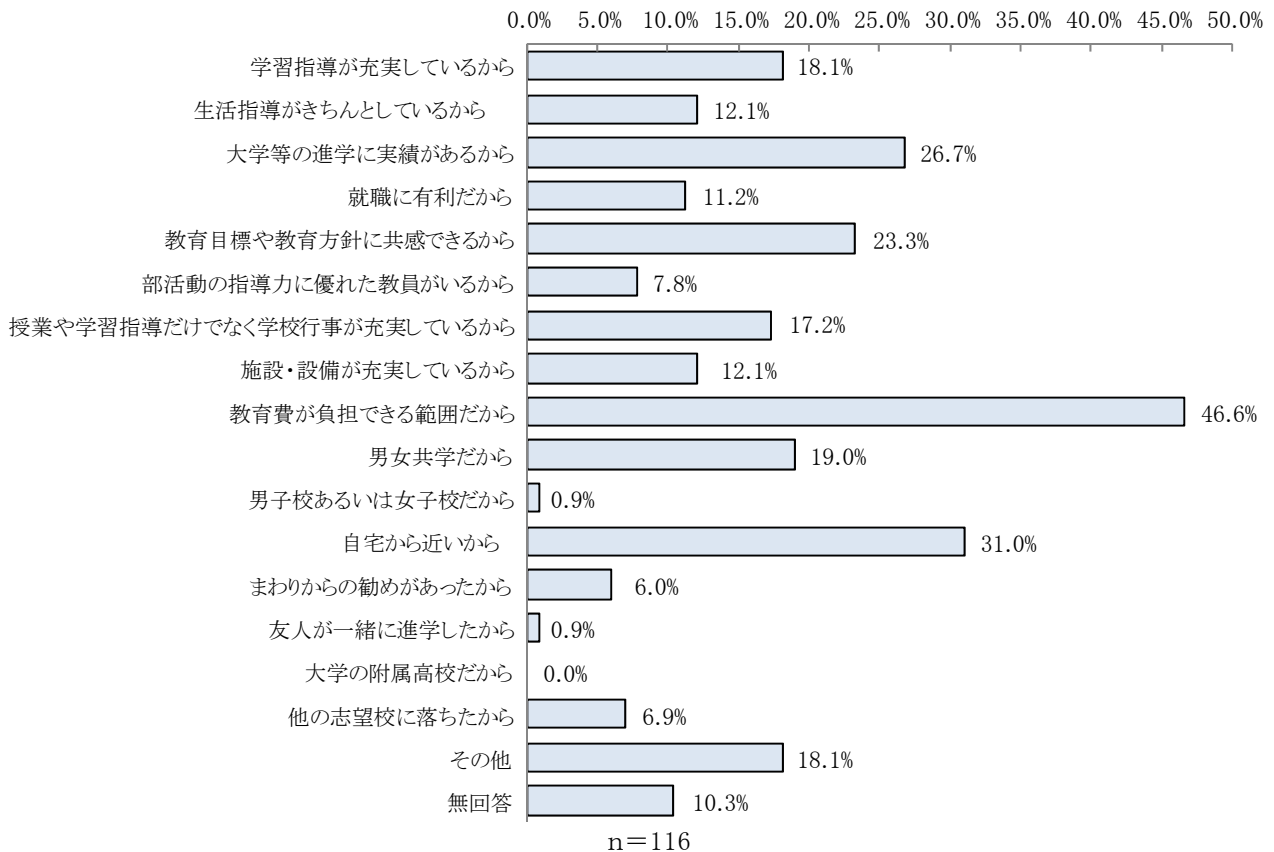
〈 前回調査 (H23) 〉

「学習指導が充実しているから」「大学等の進学に実績があるから」「大学の附属高校だから」がきつ抗している。

(問 12-3) あなたのお子様が都立高校に在学中、あるいは卒業している。(三つに〇)

〇 お子様が都立高校に在学中、あるいは卒業

〈 選んだ理由 〉



— 子供が都立高校に在学中、あるいは卒業した人が高校を選んだ理由については、「教育費が負担できる範囲だから」が46.6%と多い —

都立高校を選んだ理由について、「教育費が負担できる範囲だから」が46.6%と最も多く、次いで「自宅から近いから」の31.0%、「大学等の進学に実績があるから」の26.7%となっている。

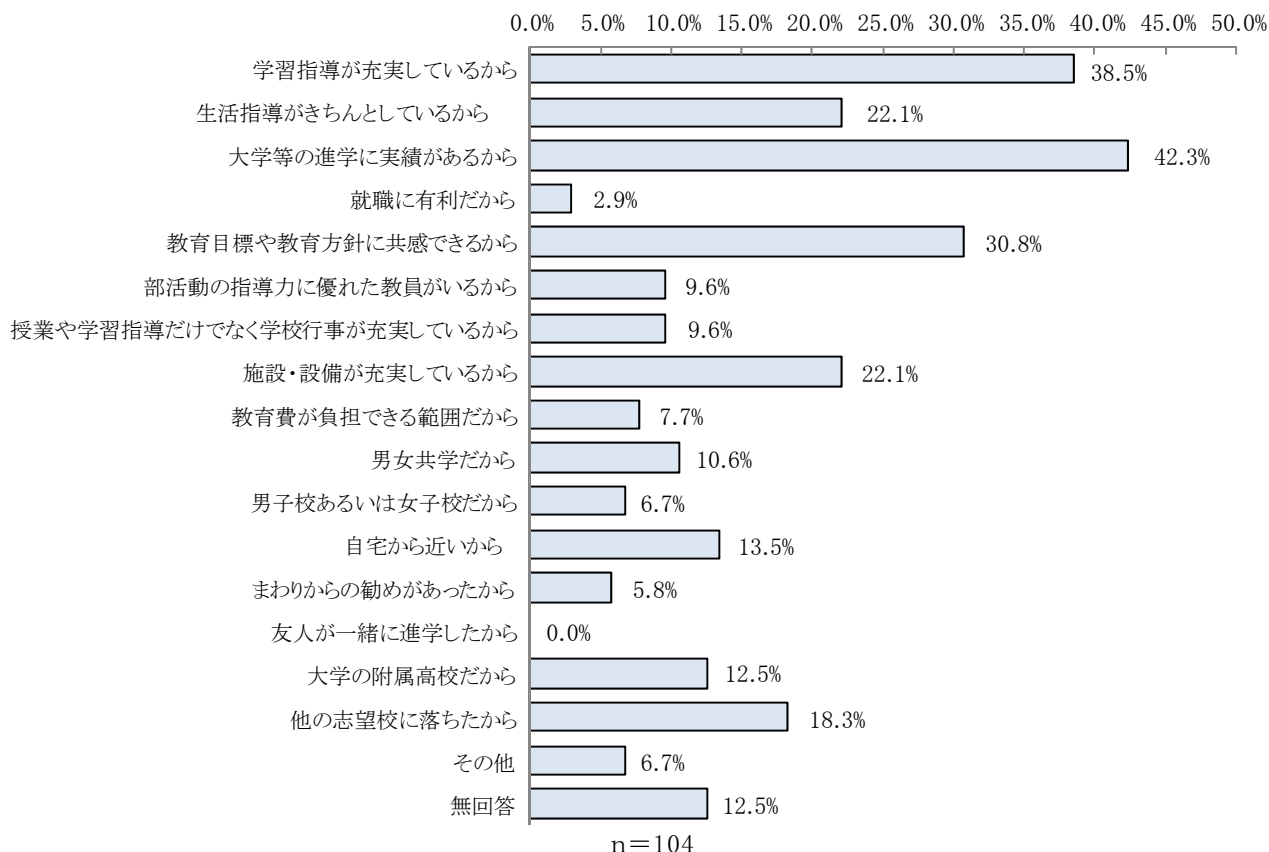
< 前回調査 (H23) >

「教育費が負担できる範囲だから」が49.7%と多い。

(問 12-4) あなたのお子様が私立高校に在学中、あるいは卒業している。(三つに〇)

○ お子様が私立高校に在学中、あるいは卒業

〈 選んだ理由 〉



— 子供が私立高校に在学中、あるいは卒業した人が高校を選んだ理由については、「大学等の進学に実績があるから」が 42.3%と多い —

私立高校を選んだ理由について、「大学等の進学に実績があるから」が 42.3%と最も多く、次いで「学習指導が充実しているから」の 38.5%、「教育目標や教育方針に共感できるから」の 30.8%となっている。

〈 前回調査 (H23) 〉

「教育目標や教育方針に共感できるから」が 40.6%と多い。

4-2 高校の満足度

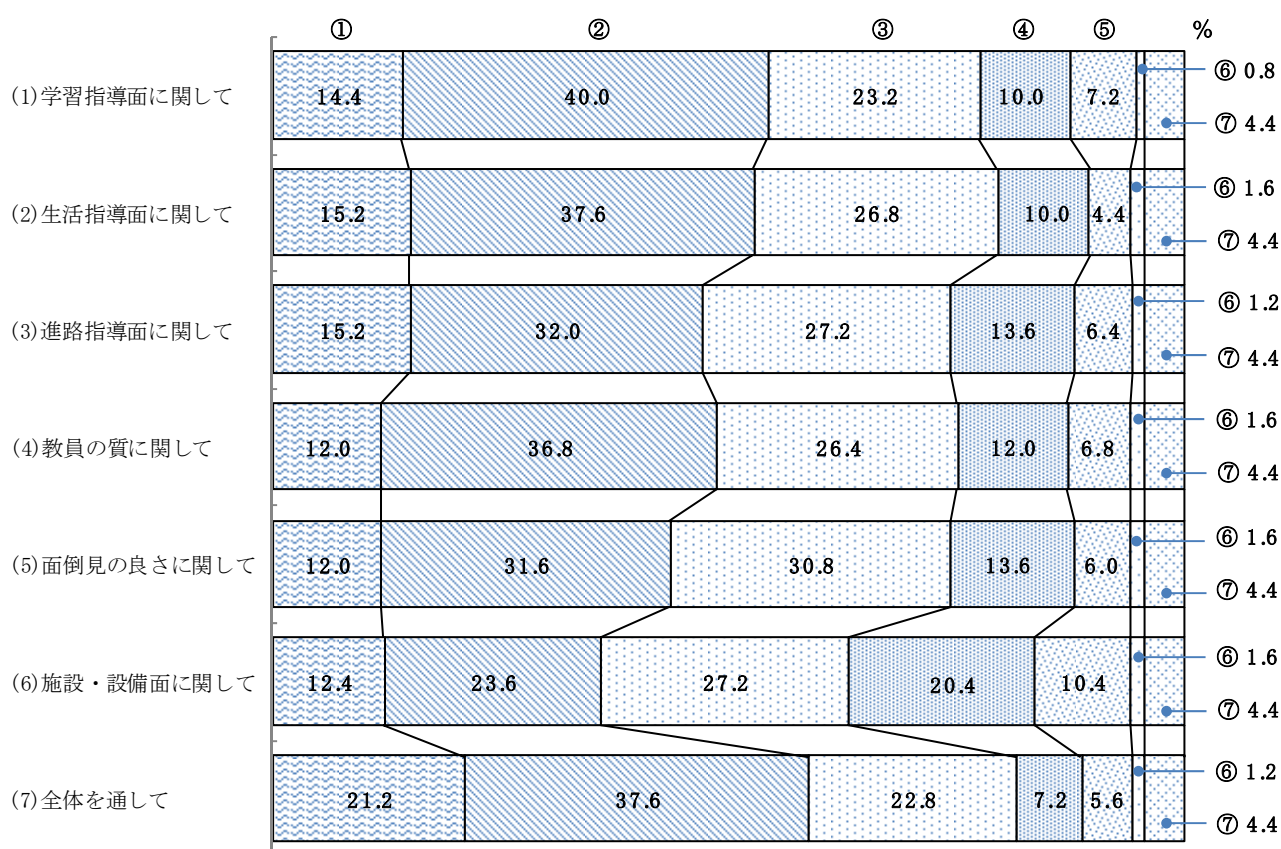
問13 以下（問13-1、問13-2、問13-3）の項目について、お選びになった高校に満足していますか（当てはまる項目について御回答ください）。

（問13-1）あなた御自身が都立高校や私立高校に在学中、あるいは卒業された方
（項目ごとに一つ○）

○ 本人が都内の都立高校に在学中、あるいは卒業

〈満足度〉

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
満足	どちらか とえば 満足	どちらと も言えな い	どちらか とえば 不満	不満	分からな い	無回答



n=250

— 都内の都立高校の満足度は、「全体を通して」「学習指導面に関して」「生活指導面に関して」の肯定的意見が5割を超えている —

「全体を通して」について、「満足」「どちらかといえば満足」を合わせた肯定的意見が58.8%と最も多く、次いで「学習指導面に関して」の54.4%、「生活指導面に関して」の52.8%と5割を超えている。他の項目では「教員の質に関して」が48.8%、「進路指導面に関して」の47.2%となっている。

< 前回調査 (H23) >

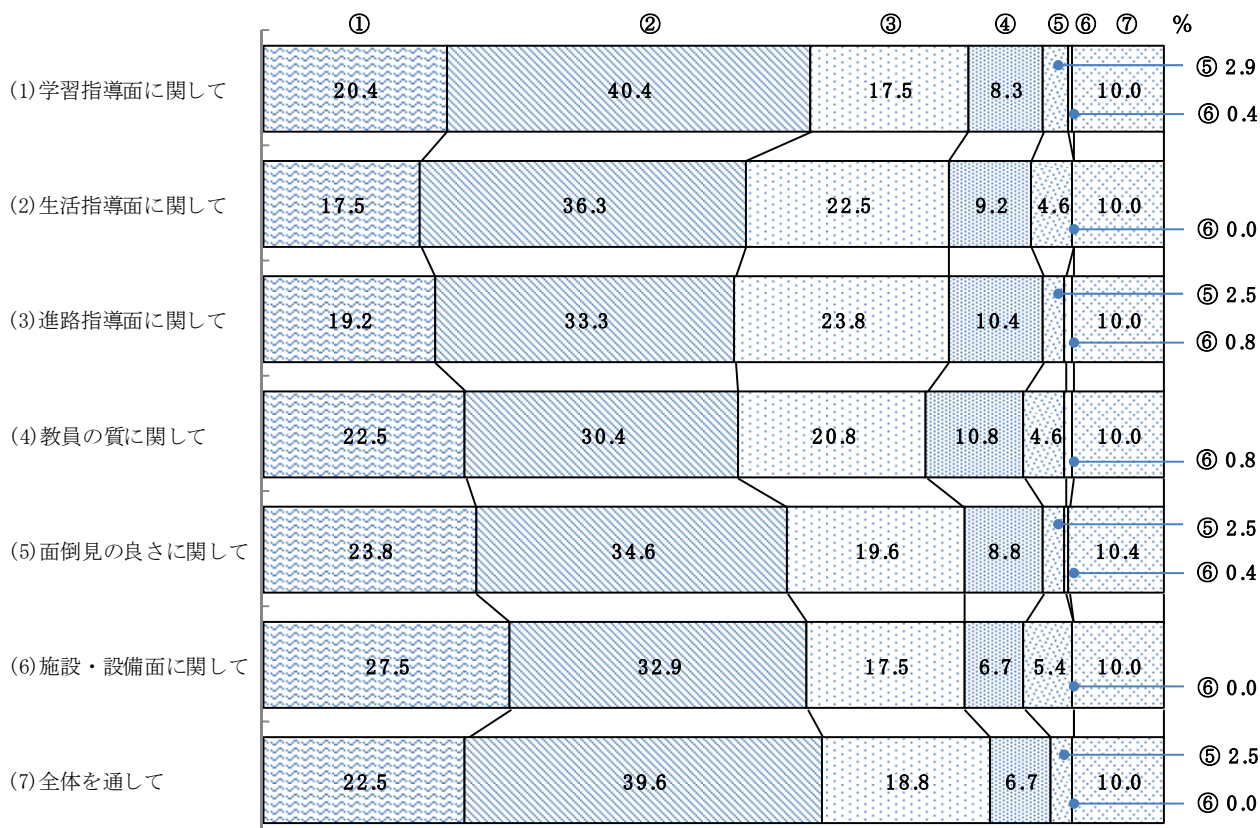
「全体を通して」「学習指導面に関して」「生活指導面に関して」の肯定的意見が5割を超えている。

(問 13-1) あなた御自身が都立高校や私立高校に在学中、あるいは卒業された方
(項目ごとに一つ〇)

○ 本人が都内の私立高校に在学中、あるいは卒業

〈 満足度 〉

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
満足	どちらか といえば 満足	どちらと も言えな い	どちらか といえば 不満	不満	分からな い	無回答



n=240

— 都内の私立高校の満足度は、全ての項目で肯定的意見が5割以上と高い —

「全体を通して」について、「満足」「どちらかといえば満足」を合わせた肯定的意見が 62.1%と多く、項目別では「施設・設備面に関して」の 60.4%と6割を超えている。他の項目も肯定的意見が5割以上の結果となっている。

＜ 前回調査 (H23) ＞

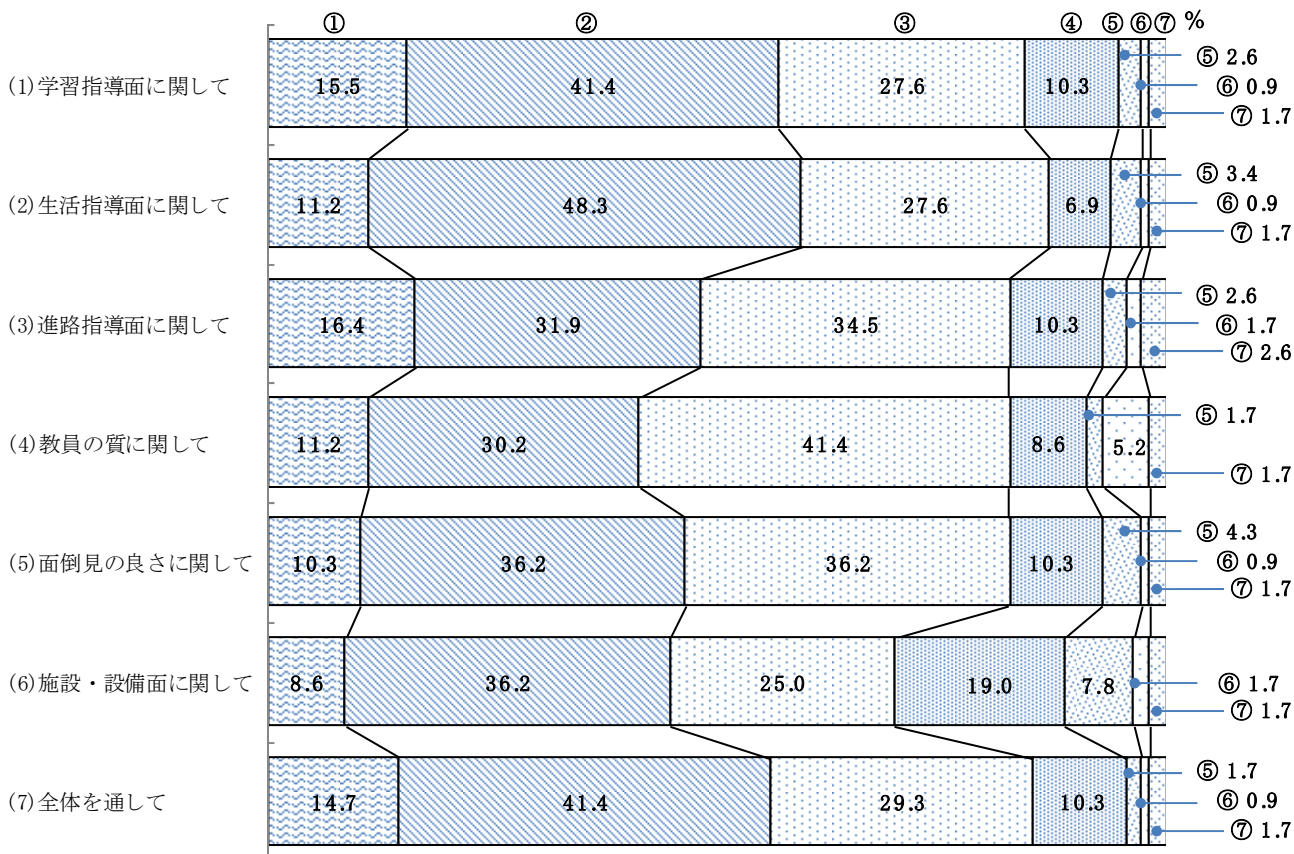
全ての項目で肯定的意見がほぼ6割と高い。

(問 13-2) あなたのお子様が都立高校に在学中、あるいは卒業された方(項目ごとに一つ〇)
 ※保護者の立場でお答えください。

○ お子様が都立高校に在学中、あるいは卒業

〈満足度〉

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
満足	どちらか とえば 満足	どちらと も言えな い	どちらか とえば 不満	不満	分からな い	無回答



n=116

—都立高校に対する保護者の満足度については、「生活指導面に関して」の肯定的意見が59.5%と多い—

「生活指導面に関して」について、「満足」「どちらかといえば満足」を合わせた肯定的意見が59.5%と最も多く、次いで「学習指導面に関して」の56.9%、「全体を通して」の56.1%となっている。

<前回調査(H23)>

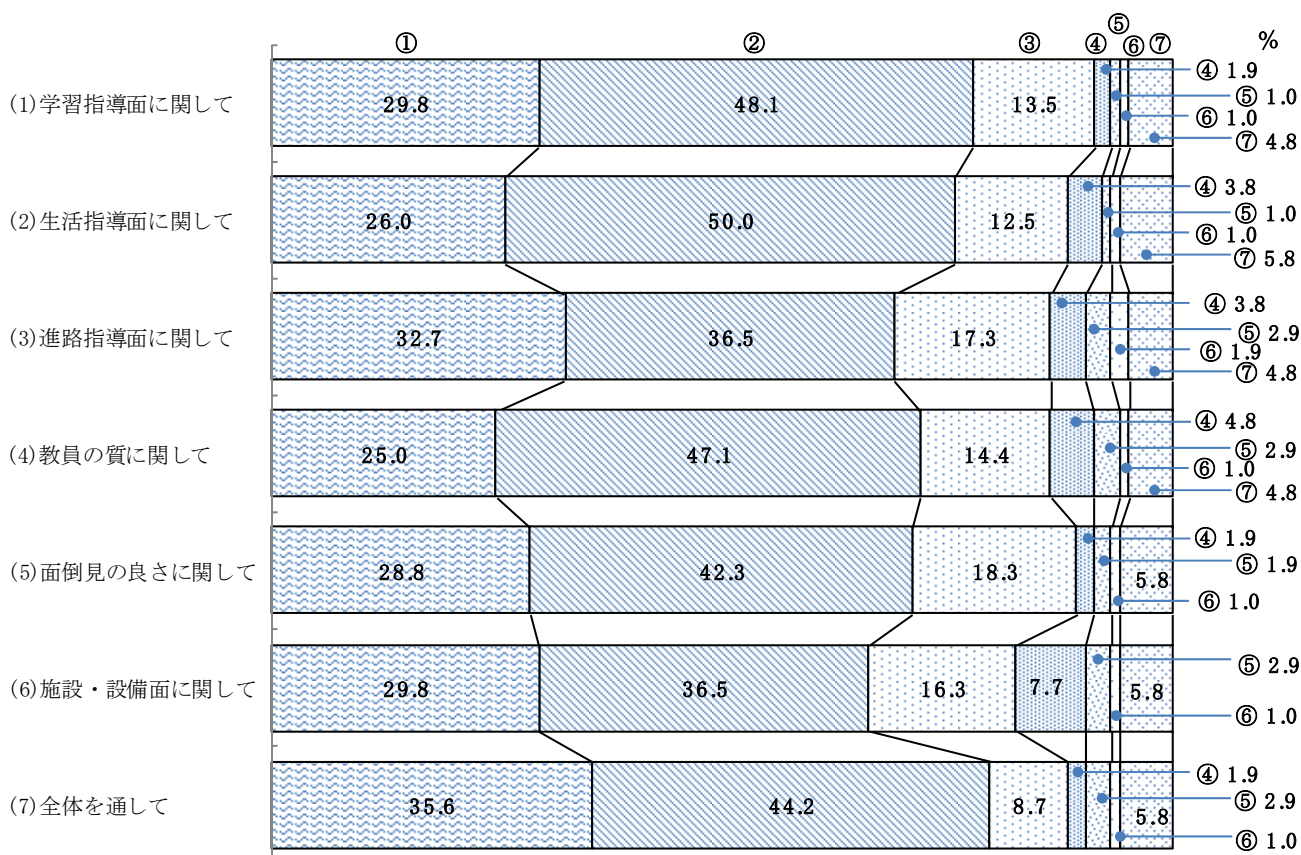
「生活指導面に関して」の肯定的意見が52.7%と多い。

(問 13-3) あなたのお子様が私立高校に在学中、あるいは卒業された方(項目ごとに一つ〇)
 ※保護者の立場でお答えください。

○ お子様が私立高校に在学中、あるいは卒業

〈満足度〉

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
満足	どちらか といえば 満足	どちらと も言えな い	どちらか といえば 不満	不満	分からな い	無回答



n=104

—私立高校に対する保護者の満足度については、「全体を通して」の肯定的意見が79.8%と多い—

「全体を通して」について、「満足」「どちらかといえば満足」を合わせた肯定的意見が79.8%と最も多く、次いで「学習指導面に関して」の77.9%、「生活指導面に関して」の76.0%、「教員の質に関して」の72.1%となっている。その他ほとんどの項目で肯定的意見が7割以上となっている。

なお、否定的意見は全ての項目で1割以下となっている。

〈前回調査 (H23)〉

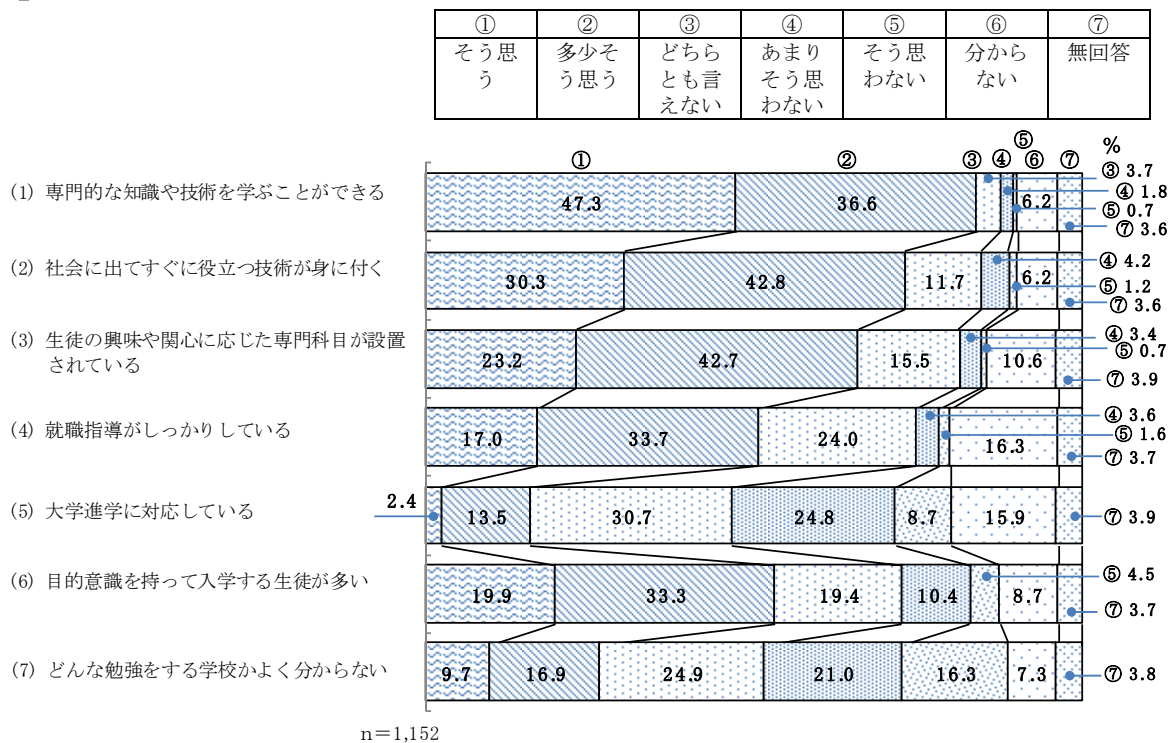
「全体を通して」の肯定的意見が82.6%と多い。

5 専門高校・定時制高校について

5-1 都立専門高校（職業学科）の印象について

問 14 都立高校（職業学科）の印象は、それぞれどれに該当しますか。
（項目ごとに一つに○）

【都民】



《専門高校（職業学科）》

専門高校（職業学科）は、農業、工業、商業、家庭等について専門的に学ぶ高校です。実習などの体験的な学習を通して、専門的な技術や勤労観・職業観を身に付けることができます。また、在学中に様々な資格を取得できるなど、魅力ある教育を行っています。

○農業高校の特色

緑豊かな環境の中で、充実した施設・設備を活用して、園芸系、畜産系、食品系、環境系の技術を学ぶことができます。

○工業高校の特色

工業立国日本を支える技術者を目指して、機械系、電気・電子系、化学系、建築系、工芸系などの技術を体験しながら学ぶことができます。

○商業高校の特色

簿記、会計、コンピュータなど社会に役立つ実用的な商業系、情報処理系などの知識や技術を学ぶことができます。

○家庭学科を置く高校の特色

将来の栄養士、保育士、デザイナー等になるための基礎・基本を学びながら、家政系、食物系、服飾系、生活デザイン系の技術を学ぶことができます。

— 都立の専門高校（職業学科）の印象は、「専門的な知識や技術が学べる」の肯定的印象が 83.9% と多い—
「専門的な知識や技術を学ぶことができる」について、「そう思う」「多少そう思う」を合わせた肯定的印象は 83.9% と最も多く、次いで「社会に出てすぐに役立つ技術が身に付く」の 73.1%、「生徒の興味や関心に応じた専門科目が設置されている」の 65.9% となっている。

一方、「そう思わない」「あまりそう思わない」を合わせた否定的印象は「大学進学に対応している」が 33.5% と多くなっている。

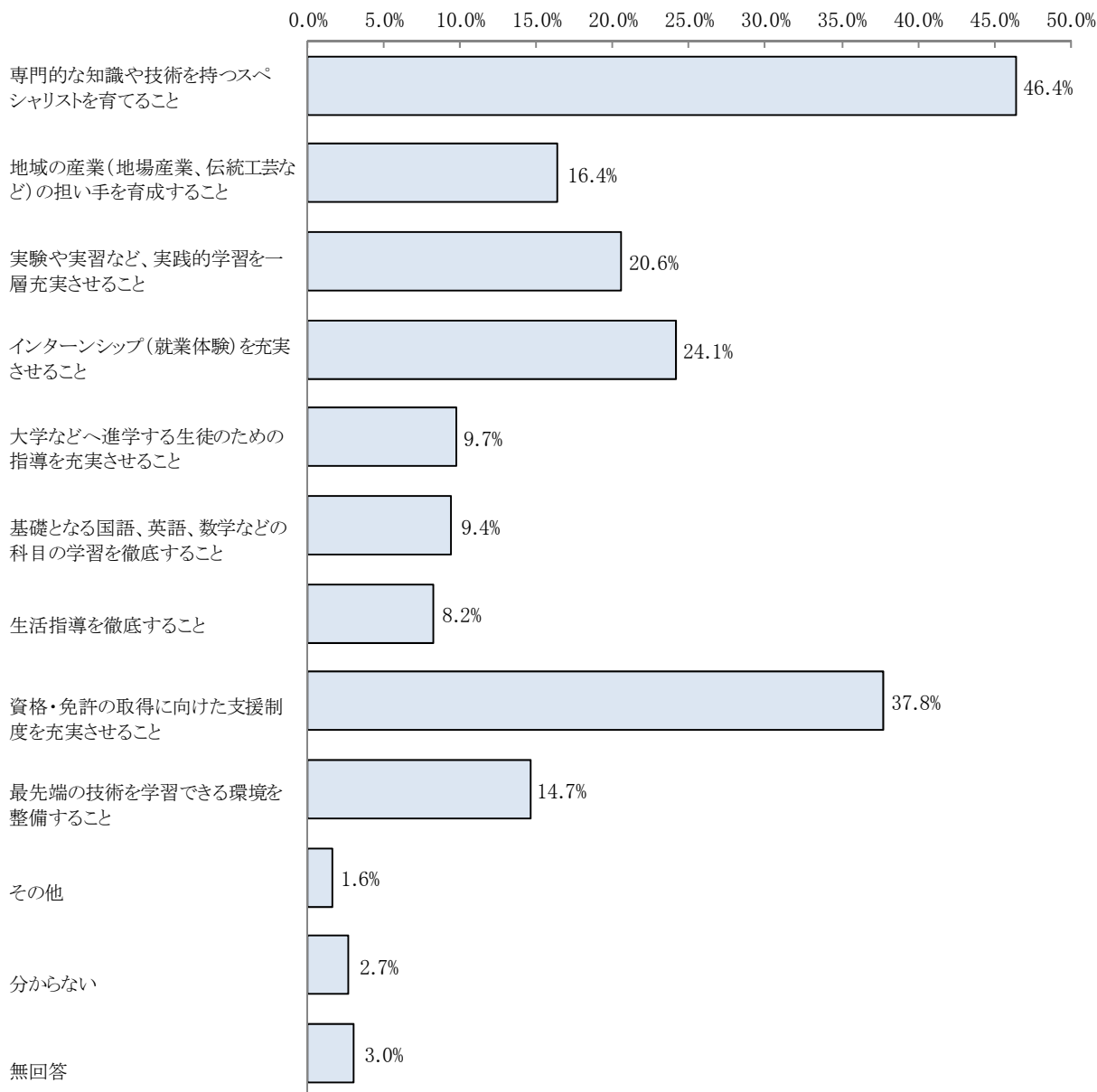
< 前回調査（H23） >

「専門的な知識や技術が学べる」の肯定的印象が 85.0% と多い。

5-2 これからの都立専門高校（職業学科）で重視してほしい教育内容

問 15 これからの都立専門高校（職業学科）の教育で特に取り組むべきことは何だとお考えですか。（二つに〇）

【都民】



n=1,152

— 都立専門高校（職業学科）の教育で特に取り組むべきことは、「専門的な知識や技術を持つスペシャリストを育てること」が 46.4%と多い —

都立専門高校（職業学科）の教育で特に取り組むべきこととして、「専門的な知識や技術を持つスペシャリストを育てること」が 46.4%と最も多く、次いで「資格・免許の取得に向けた支援制度を充実させること」の 37.8%、「インターンシップ（就業体験）を充実させること」の 24.1%、「実験や実習など、実践的学習を一層充実させること」の 20.6%となっている。

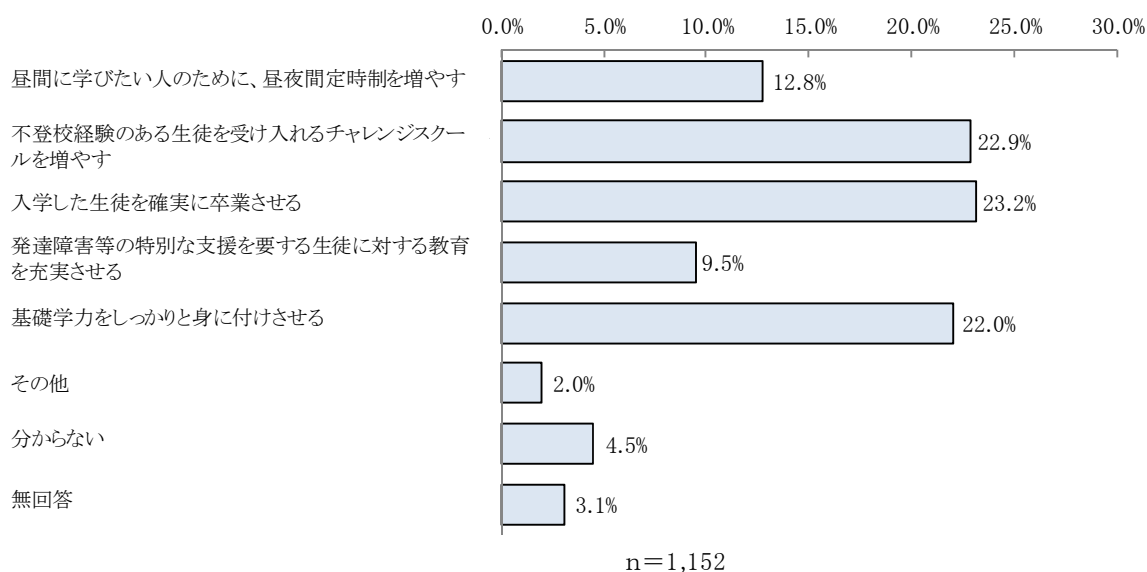
< 前回調査（H23） >

「専門的な知識や技術を持つスペシャリストを育てること」が 54.2%と多い。

5-3. これからの定時制教育で取り組むべきこと

問 16 これからの定時制教育で特に取り組むべきことは何だとお考えですか。(一つに○)

【都民】



《都立の定時制高校について》

平成28年5月現在、定時制高校は55校あり、このうち、夜間だけでなく昼間も学べる昼夜間定時制高校（チャレンジスクール5校を含む。）は11校設置されています。

近年、夜間定時制高校では働きながら学ぶ生徒が少数となり、不登校経験のある生徒や全日制高校を中途退学した生徒など多様な生徒を受け入れています。この変化に伴い、現在の夜間定時制には昼間に学ぶことを希望する生徒が多く在籍するようになってきました。

一方、定時制高校の中途退学率は、減少傾向が見られるものの、平成26年度で11.3%となっており、同時期の全日制の中途退学率1.0%に比べ、なお高い割合となっています。

また、平成26年度に東京都教育委員会が実施した調査において、都立高校の生徒のうち発達障害と考えられる生徒の在籍率は、全日制1.2%に対し、定時制では11.4%と高い割合となっています。

定時制課程に在籍する生徒の多様化に対応して設置してきた昼夜間定時制高校は、いずれも入学者選抜の応募倍率が高く、入学希望に十分に答えられていない状況があることから、平成28年2月に策定した「都立高校改革推進計画・新実施計画」ではチャレンジスクール2校の新設と、チャレンジスクールと昼夜間定時制高校の規模の拡大を行うこととしました。

一これからの定時制教育で特に取り組むべきことは、「入学した生徒を確実に卒業させる」が23.2%と多く、次いで「不登校経験のある生徒を受け入れるチャレンジスクールを増やす」が22.9%と多い

これからの定時制教育で特に取り組むべきこととして、「入学した生徒を確実に卒業させる」が23.2%と最も多く、次いで「不登校経験のある生徒を受け入れるチャレンジスクールを増やす」の22.9%、「基礎学力をしっかりと身に付けさせる」の22.0%、「昼間に定時制で学びたい人のために、昼夜間定時制を増やす」の12.8%となっている。

< 前回調査 (H23) >

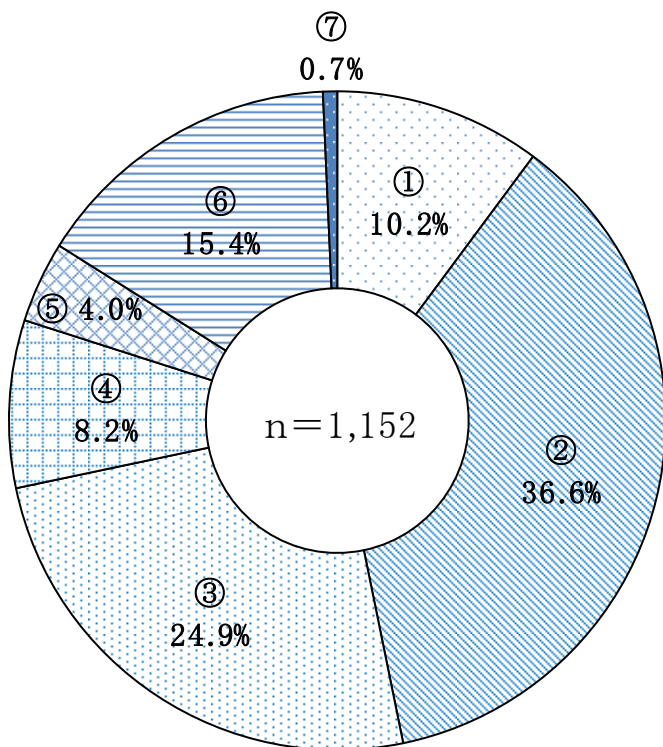
「入学した生徒を確実に卒業させる」が24.3%と多い。

6 都立高校の教育内容について

6-1 生徒の学力向上について

問 17 都立高校は生徒の学力を向上させていると思いますか。(一つに○)

【都民】



- ① そう思う
- ② 多少そう思う
- ③ どちらとも言えない
- ④ あまりそう思わない
- ⑤ そう思わない
- ⑥ 分からない
- ⑦ 無回答

－ 「都立高校は生徒の学力を向上させているか」については、肯定的意見が 46.8%と多い－

学力の向上について、「そう思う」「多少そう思う」を合わせた肯定的意見が 46.8%で、「そう思わない」「あまりそう思わない」を合わせた否定的意見が 12.2%となっている。

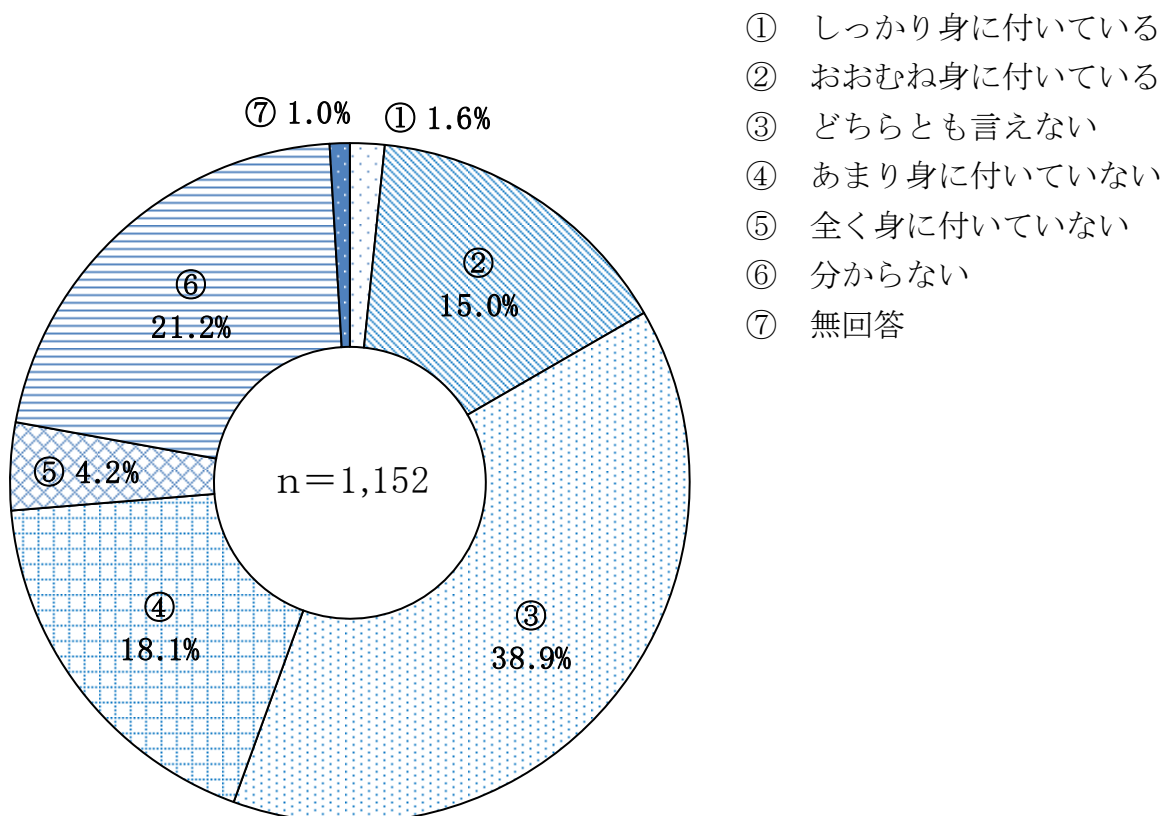
< 前回調査 (H23) との比較 >

・「肯定的意見」	6.5 ポイント増加	(40.3% → 46.8%)
・「否定的意見」	7.6 ポイント減少	(19.8% → 12.2%)
・「どちらとも言えない」	2.2 ポイント減少	(27.1% → 24.9%)

6-2. 生徒の勤労観と職業観について

問 18 都立高校の生徒に勤労観や職業観が身に付いていると感じていますか。(一つに○)

【都民】



— 「生徒に勤労観や職業観が身に付いていると感じていますか」については、否定的意見が22.3%と多い—

生徒の勤労観や職業観について、「しっかり身に付いている」「おおむね身に付いている」を合わせた肯定的意見が16.6%であるのに対し、「あまり身に付いていない」「全く身に付いていない」を合わせた否定的意見が22.3%と多くなっている。

<前回調査 (H23) との比較>

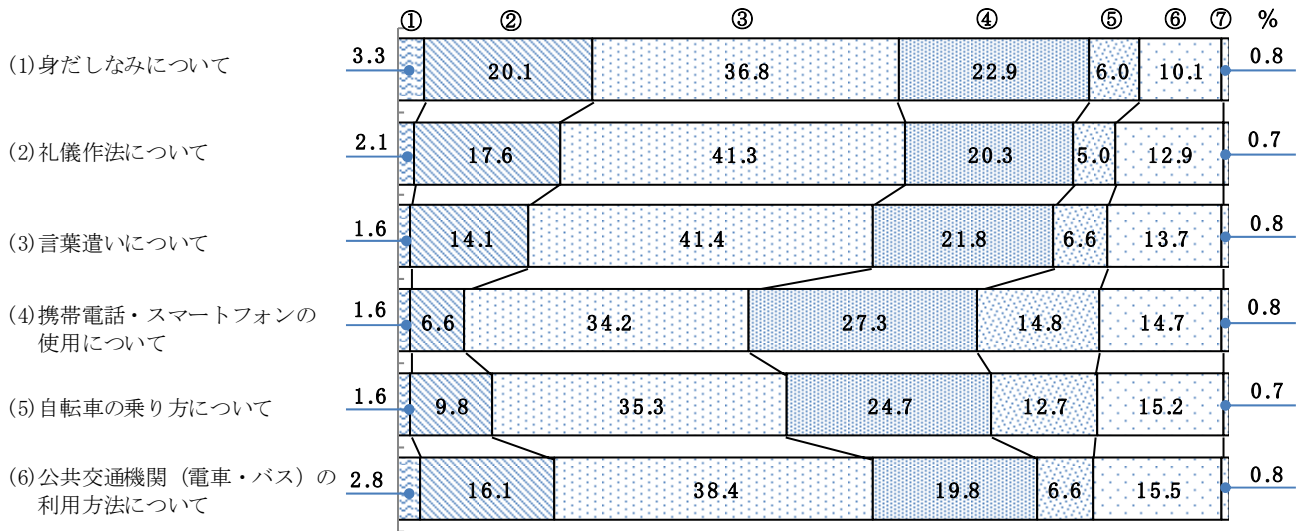
・「肯定的意見」	4.7 ポイント増加	(11.9% → 16.6%)
・「否定的意見」	11.1 ポイント減少	(33.4% → 22.3%)
・「どちらとも言えない」	1.3 ポイント増加	(37.6% → 38.9%)

6-3 都立高校の生徒のマナー

問 19 都立高校の生徒のマナーについてどのような印象がありますか。(項目ごとに一つ〇)

【都民】

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
良い	概ね良い	どちらとも言えない	あまり良くない	良くない	分からない	無回答



— 「都立高校生のマナーについてどのような印象がありますか」については、「携帯電話・スマートフォンの使用について」「自転車の乗り方について」の否定的印象が40%前後と多い—

都立高校生の素行に対する印象について、「携帯電話・スマートフォンの使用について」の「良い」「概ね良い」を合わせた肯定的印象が8.2%に対し、「良くない」「あまり良くない」を合わせた否定的印象が42.1%、「自転車の乗り方について」は肯定的印象が11.4%であるのに対し、否定的印象が37.4%と大きく上回っている。

「身だしなみについて」、「礼儀作法について」は肯定的な印象と否定的な印象がほぼきつ抗した結果となっている。

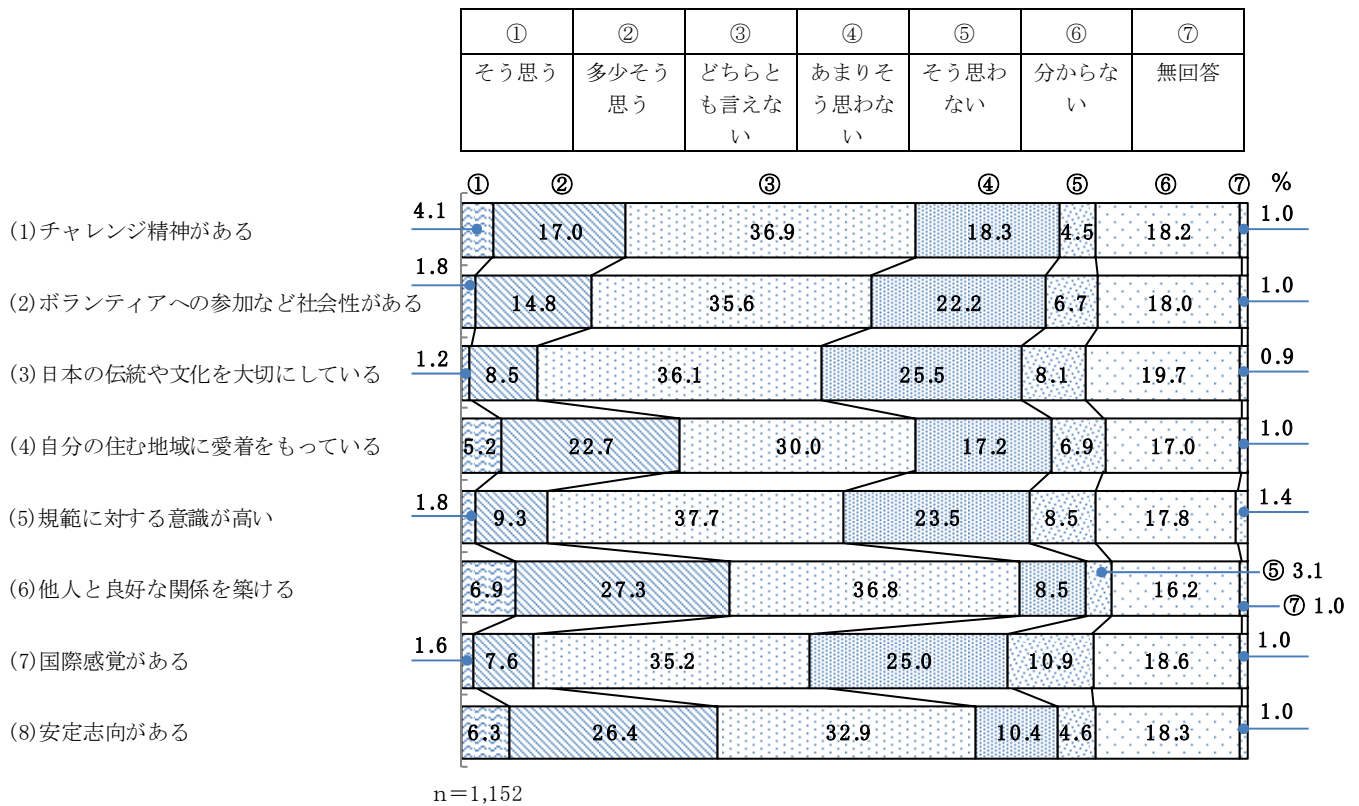
< 前回調査 (H23) >

「自転車の乗り方について」「身だしなみについて」の否定的印象がほぼ5割と多い。

6-4 都立高校生の印象

問 20 都立高校の生徒に対してどのような印象がありますか。(項目ごとに一つ〇)

【都民】



— 都立高校生の印象については、「他人と良好な関係を築ける」「安定志向がある」は肯定的印象が多いが、「国際感覚がある」「日本の伝統や文化を大切にしている」などに否定的印象が多い—

「他人と良好な関係を築ける」について、「そう思う」「多少そう思う」を合わせた肯定的印象が 34.2% と最も多く、次いで「安定志向がある」の 32.7% となっている。

一方、「そう思わない」「あまりそう思わない」を合わせた否定的印象は「国際感覚がある」が 35.9% と最も多く、次いで「日本の伝統や文化を大切にしている」の 33.6% となっている。

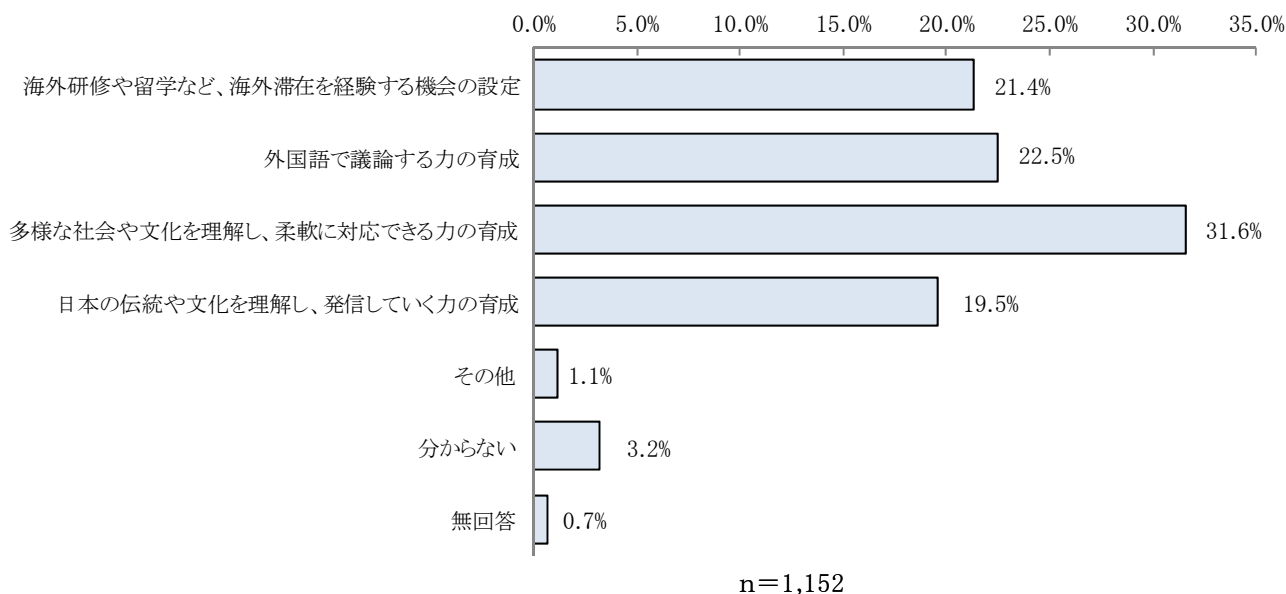
< 前回調査 (H23) >

「他人と良好な関係を築ける」は肯定的印象が多いが、「規範に対する意識が高い」「国際感覚がある」「日本の伝統や文化を大切にしている」などに否定的印象が多い。

6-5 社会のグローバル化に伴い、今後更に充実させるべき点

問 21 社会のグローバル化に伴い、都立高校では国際理解教育等を実施していますが、今後更に充実させるべき点はどのようなことだと思いますか。（一つに○）

【都民】



—国際理解教育等の実施に関して充実させるべき点としては、「多様な社会や文化を理解し、柔軟に対応できる力の育成」が31.6%と最も多い—

国際理解教育等で充実させるべき点として、「多様な社会や文化を理解し、柔軟に対応できる力の育成」が31.6%と最も多く、次いで「外国語で議論する力の育成」の22.5%、「海外研修や留学など、海外滞在を経験する機会の設定」の21.4%、「日本の伝統や文化を理解し、発信していく力の育成」の19.5%となっている。

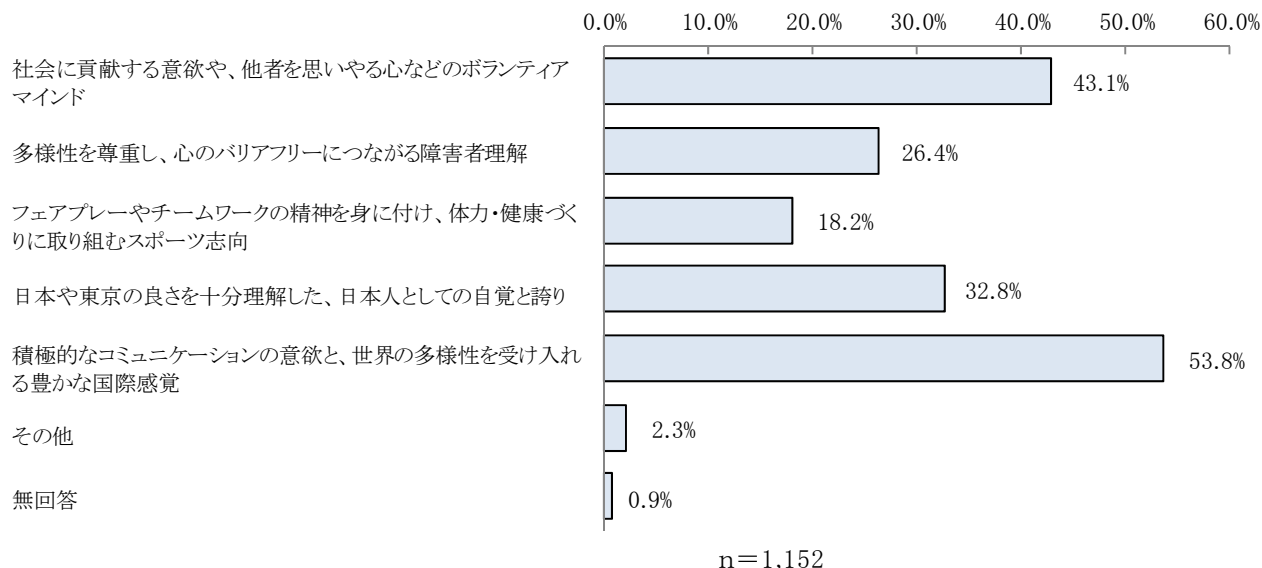
< 前回調査 (H23) >

「多様な社会や文化を理解し、柔軟に対応できる力」が32.5%と最も多い。

6-6 オリンピック・パラリンピック教育を通じて伸ばさせるべき生徒の資質・能力

問 22 オリンピック・パラリンピック教育を通じて伸ばさせるべき生徒の資質・能力のうち重要なものは何だとお考えですか。(二つに〇)

【都民】



ーオリンピック・パラリンピック教育を通じて伸ばさせるべき生徒の資質・能力としては、「積極的なコミュニケーションの意欲と、世界の多様性を受け入れる豊かな国際感覚」が53.8%と最も多いー

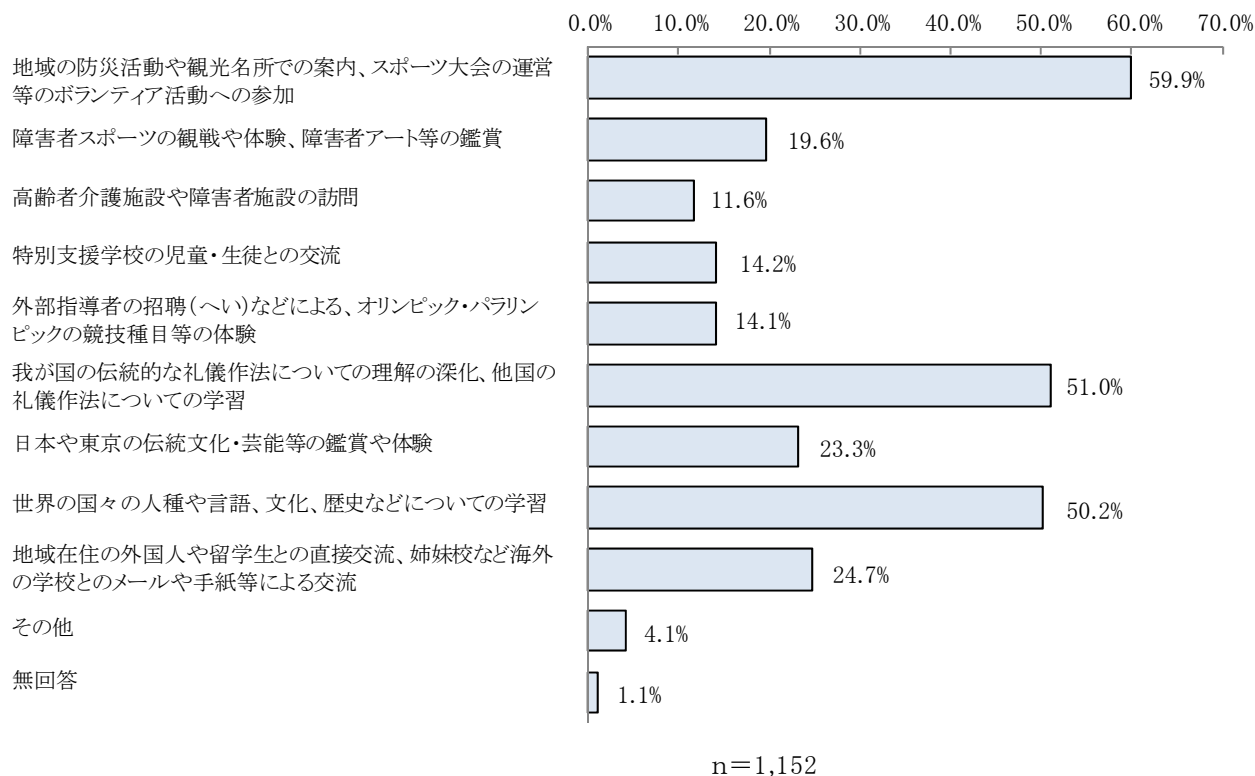
オリンピック・パラリンピック教育を通じて伸ばさせるべき生徒の資質・能力として、「積極的なコミュニケーションの意欲と、世界の多様性を受け入れる豊かな国際感覚」が53.8%と最も多く、次いで「社会に貢献する意欲や、他者を思いやる心などのボランティアマインド」の43.1%、「日本や東京の良さを十分理解した、日本人としての自覚と誇り」の32.8%、「多様性を尊重し、心のバリアフリーにつながる障害者理解」の26.4%となっている。

※ 前回調査（H23）では項目なし

6-7 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会で取り組むべき点

問 23 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて都立高校で取り組むべきことは何だとお考えですか。(三つに〇)

【都民】



—東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて都立高校で取り組むべきこととしては、「地域の防災活動や観光名所での案内、スポーツ大会の運営等のボランティア活動への参加」が 59.9%と最も多い—

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて都立高校で取り組むべきこととして、「地域の防災活動や観光名所での案内、スポーツ大会の運営等のボランティア活動への参加」が 59.9%と最も多く、次いで「我が国の伝統的な礼儀作法についての理解の深化、他国の礼儀作法についての学習」の 51.0%、「世界の国々の人種や言語、文化、歴史などについての学習」の 50.2%となっている。

※ 前回調査 (H23) では項目なし

7. これからの都立高校はどうあるべきか（自由意見）

問 24 これからの都立高校はどうあるべきか、率直な御意見をお聞かせください。

【都民】

これからの都立高校はどうあるべきかについて自由意見を聞いたところ、回収数 1,152 票のうち、本問について回答のあったものは 643 票（一般：554 票、高校生：89 票）である。

多かった意見は、都立高校の教育に関する意見及び都立高校教員に関する意見である。

都立高校の教育に関する意見には、

- ・グローバル社会に対応する外国語教育や日本の文化を身に付ける教育を望む。
- ・人間性を育てる教育をしてほしい。

といった意見が多く寄せられている。

また、前回の調査（H23 年度）において多く寄せられた「生活指導の徹底」といった意見よりも“日本人としてのマナーや教養を身に付ける教育をしてほしい”といった意見が多く寄せられている。

都立高校教員に関しては、

- ・教師の質の向上。事務的な授業ではなく、生徒の心に響く、興味を持てる授業を行ってほしい。
- ・もっと生徒の心に寄り添ってほしい。

といった意見が多く寄せられている。

さらに、

- ・生徒獲得が学校運営に直結している私立高校に比べ、教員の生徒に対する関わり方は都立高校の教員は温度差がある。
- ・塾に頼らない受験対策を望む。

という意見も目立っている。

その他では、

- ・私立高校との差別化を図り、東京都だからこそできる教育環境や、システムを構築してほしい。
- ・社会的弱者（貧困や障害）を受け入れ、日本全体の教育のボトムアップを期待する。

といった意見が寄せられている。

第3章 調査2「企業及び学校を対象とした調査結果の分析」

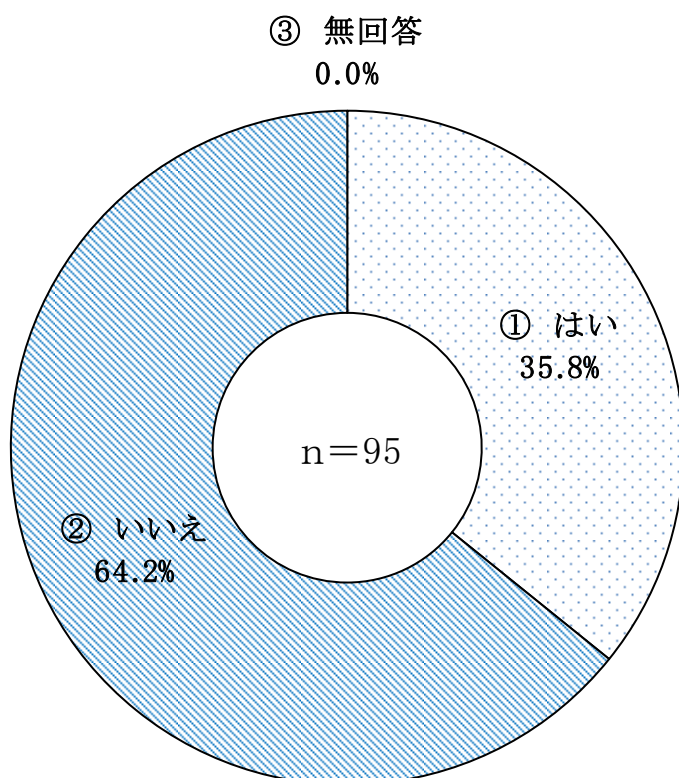
〔東京都で営業する企業を対象〕

1 新卒者の採用について

1-1 高校新卒者の採用について

問1 貴社では過去3年間に高校新卒者の採用を行いましたか。

【企業】



—高校新卒者の企業採用は、「採用していない」が64.2%と多い—

過去3年間に企業が採用した高校新卒者は、「採用している」が35.8%であるのに対し、「採用していない」が64.2%となっている。

<前回調査（H23）との比較>

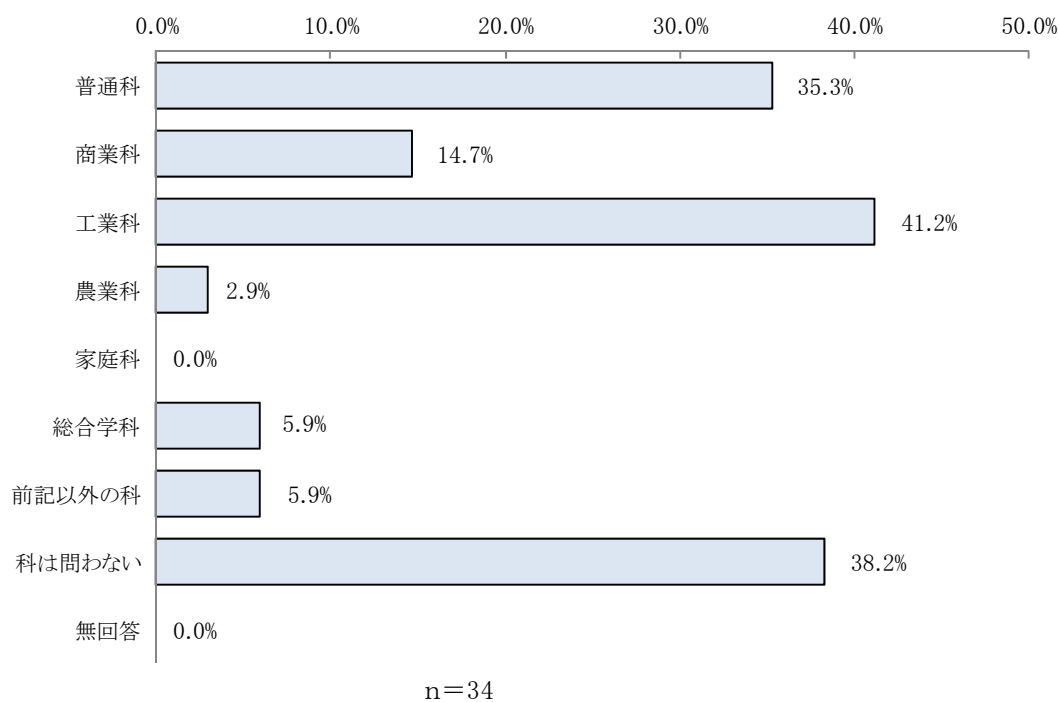
- | | | |
|------------|---------|-----------------|
| ・「採用している」 | 5ポイント増加 | (30.8% → 35.8%) |
| ・「採用していない」 | 5ポイント減少 | (69.2% → 64.2%) |

1-2 採用に際しての高校の学科

問2 問1で1（はい）と回答された場合、お答えください。

貴社で採用している高校の学科は何ですか。（該当するものに○）

【 企業 】



—企業が採用している高校生の学科としては、「工業科」が41.2%と最も多い—

企業が採用している高校生の学科は「工業科」の41.2%が最も多く、次いで「科は問わない」の38.2%、「普通科」の35.3%、「商業科」の14.7%となっている。

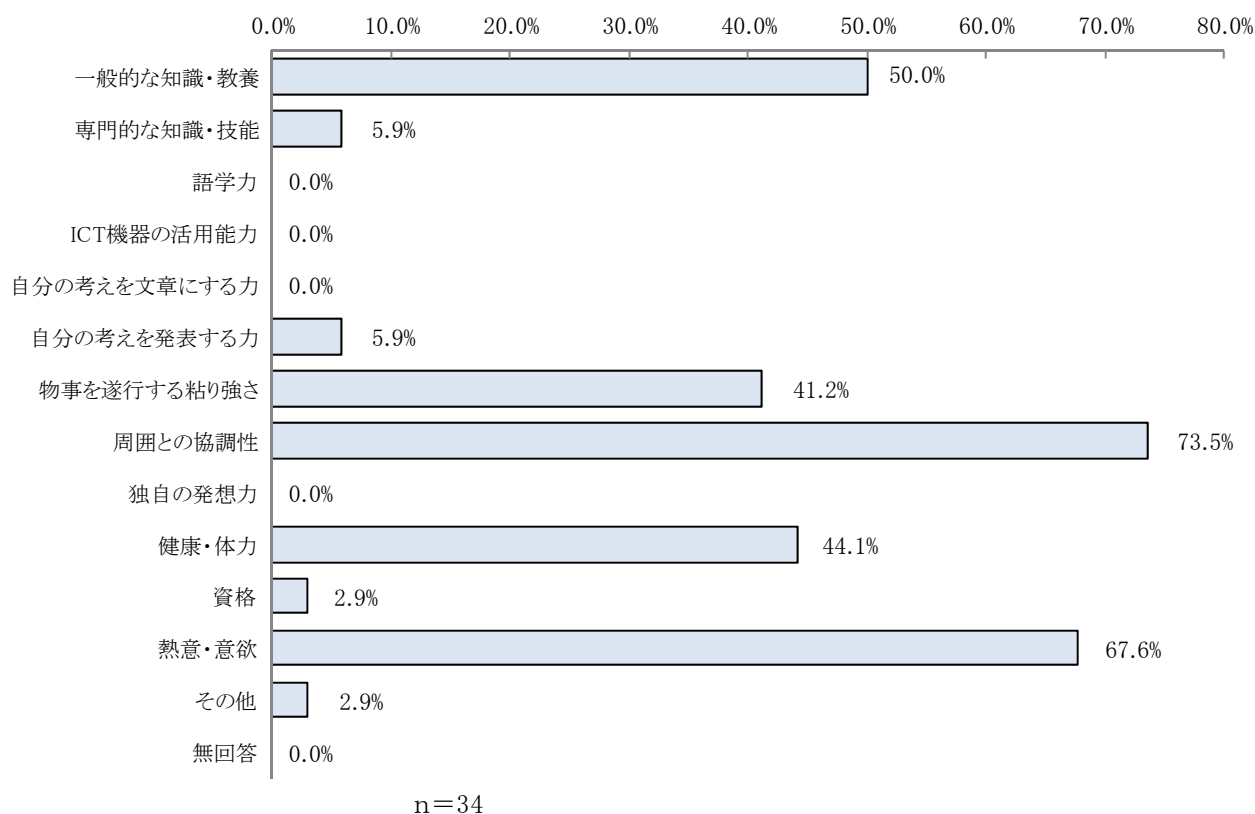
< 前回調査（H23）との比較 >

・「工業科」	5.8ポイント増加	(35.4% → 41.2%)
・「科は問わない」	11.8ポイント減少	(50% → 38.2%)
・「普通科」	8.2ポイント増加	(27.1% → 35.3%)
・「商業科」	0.1ポイント増加	(14.6% → 14.7%)

1-3 採用に際し重視する点

問3 問1で1（はい）と回答された場合、お答えください。
高校卒業生の採用に際し、重視している点は何ですか。（三つに〇）

【 企業 】



—企業が高校生を採用する際に重視している点としては、「周囲との協調性」が73.5%と最も多い—

企業が高校生を採用する際に重視している点として、「周囲との協調性」が73.5%と最も多く、次いで「熱意・意欲」67.6%、「一般的な知識・教養」が50.0%、「健康・体力」44.1%、「物事を遂行する粘り強さ」の41.2%となっている。

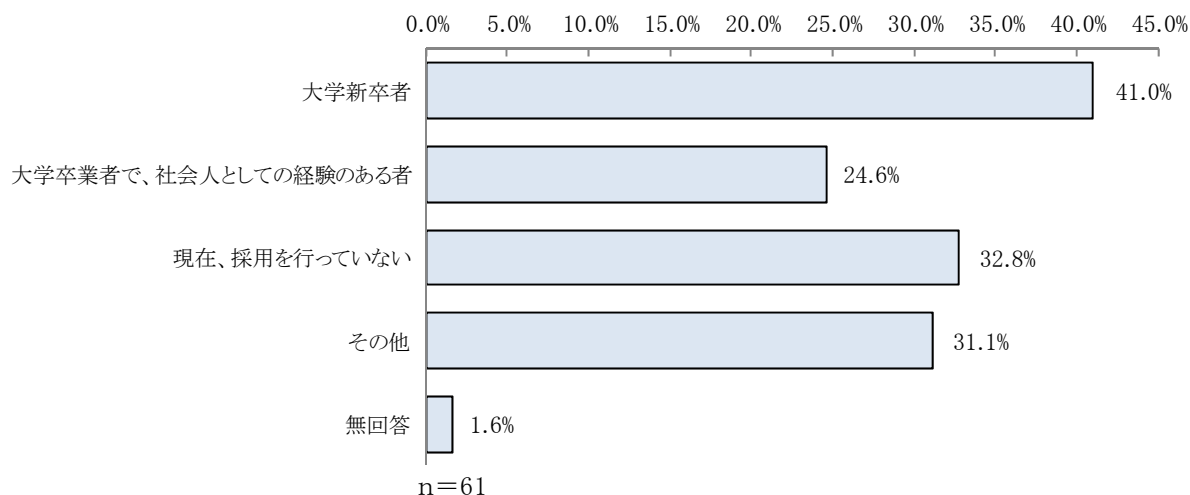
< 前回調査 (H23) >

「熱意・意欲」が66.7%と最も多い。

1-4 高校新卒者を採用しない場合の採用対象者

問4 問1で2（いいえ）と回答された場合、お答えください。
どのような方を対象に採用を行っていますか。

【 企業 】



—高校新卒者を採用していない場合の採用対象者については、「大学新卒者」が41.0%と最も多い—

高校新卒者を採用していない場合の採用対象者について、「大学新卒者」が41.0%と最も多く、次いで「現在、採用を行っていない」の32.8%、「その他」の31.1%、「大学卒業者で、社会人としての経験のある者」の24.6%となっている。

その他の回答としては、専門学校や短期大学卒業者となっている。

< 前回調査（H23）との比較 >

- | | | |
|-----------------|------------|-----------------|
| ・「大学新卒者」 | 14.1ポイント増加 | (26.9% → 41.0%) |
| ・「現在、採用を行っていない」 | 7.9ポイント減少 | (40.7% → 32.8%) |
| ・「その他」 | 2.4ポイント増加 | (28.7% → 31.1%) |

〔東京都で営業する企業を対象〕

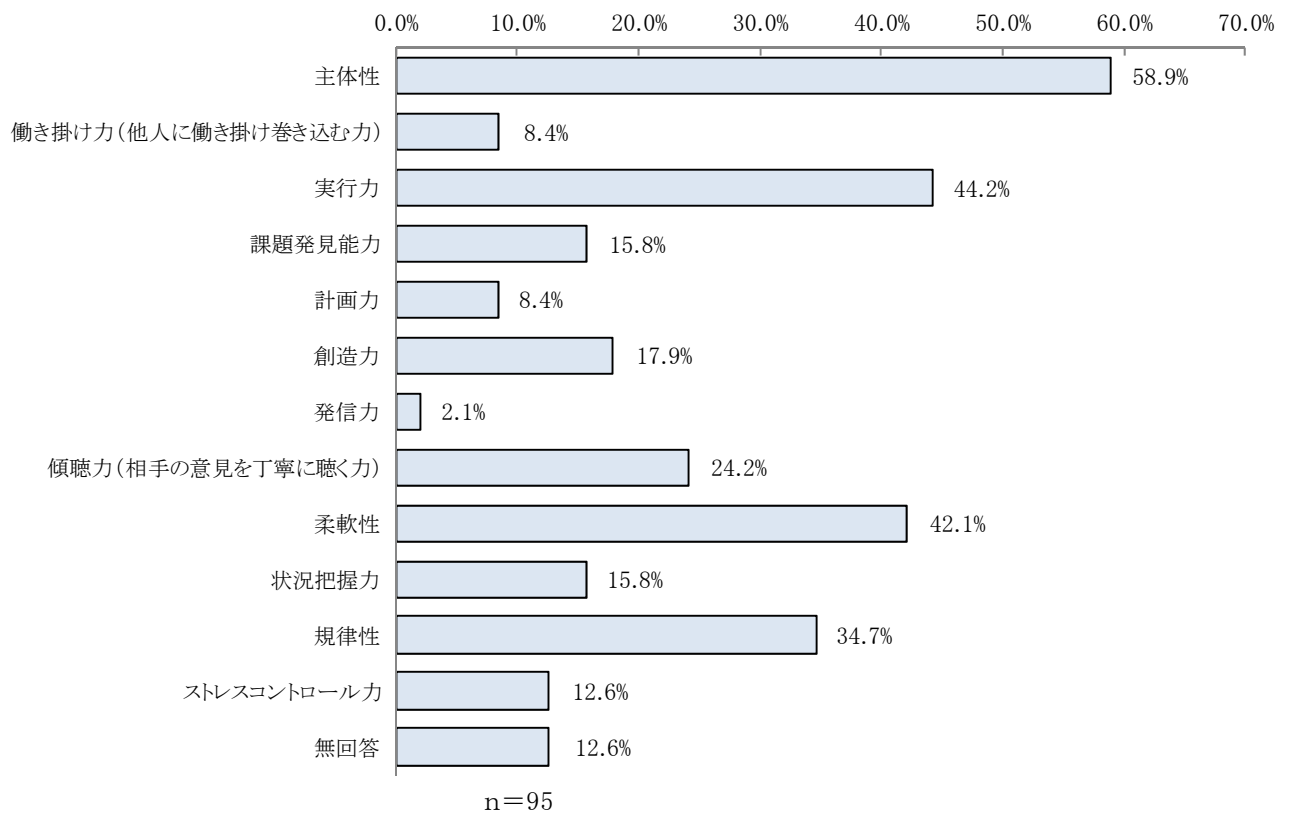
2 社会に出るに当たり身に付けてきてほしいこと

問5 生徒、学生を問わず社会に出るに当たり、特に身に付けてきてほしいことは何ですか。
(問5-1、問5-2それぞれに三つに○)

(問5-1) 社会人としての基礎的能力 (三つに○)

○ 社会人としての基礎能力

【 企業 】



—企業が求めている社会人としての基礎的能力としては、「主体性」が58.9%と多い—

企業が求めている社会人としての基礎的能力として、「主体性」が58.9%と最も多く、次いで「実行力」の44.2%、「柔軟性」の42.1%、「規律性」の34.7%、「傾聴力（相手の意見を丁寧に聴く力）」の24.2%となっている。

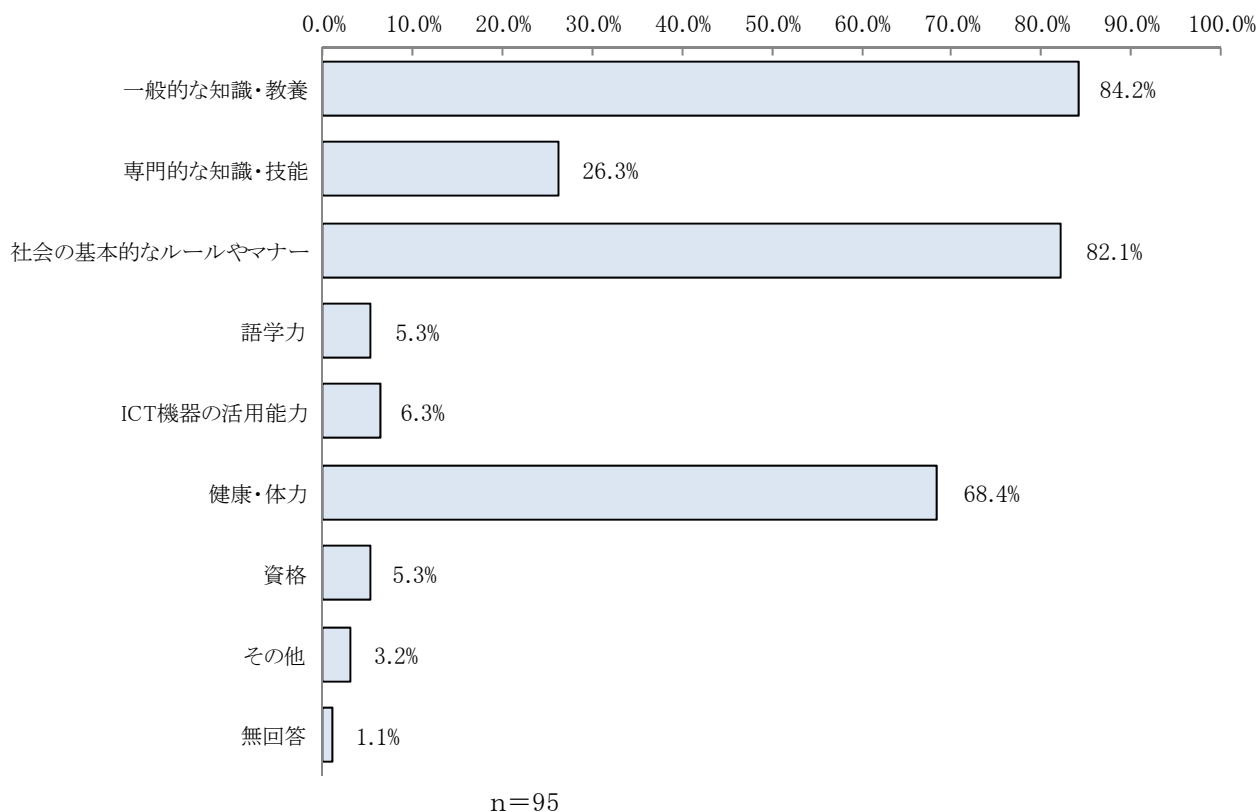
< 前回調査 (H23) >

「主体性」が57.7%と多い。

(問5-2) 教養、その他の要素 (三つに〇)

〇 教養、その他の要素

【 企業 】



—企業が求めている教養、その他の要素としては、「一般的な知識・教養」が84.2%と多い—

企業が求めている教養、その他の要素として、「一般的な知識・教養」が84.2%と最も多く、次いで「社会の基本的なルールやマナー」の82.1%、「健康・体力」の68.4%となっている。

< 前回調査 (H23) >

「社会の基本的なルールやマナー」が91.0%と多い。

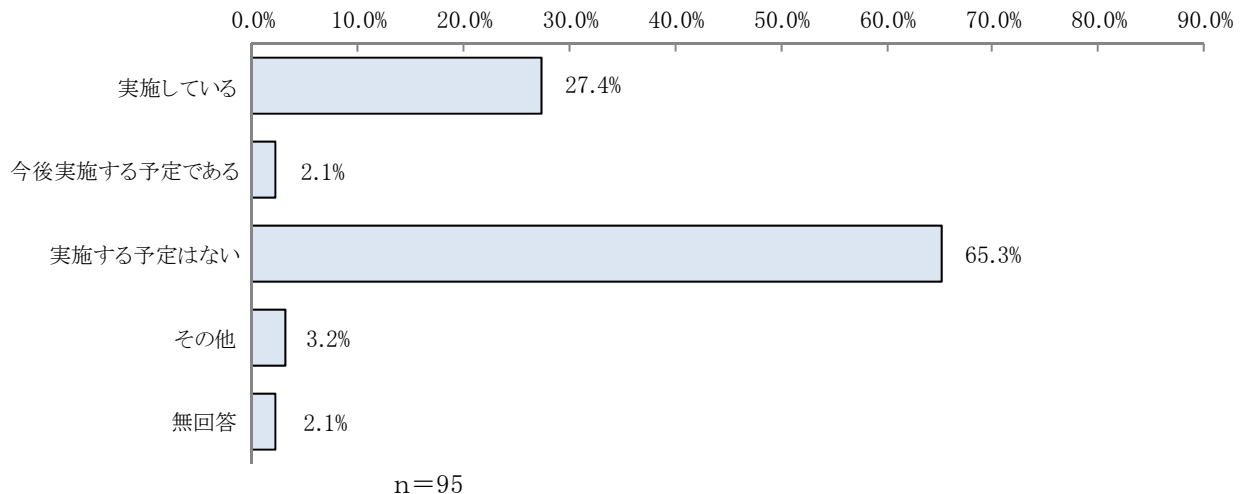
[東京都で営業する企業を対象]

3 職場見学等の状況について

3-1 高校生を対象にした職場見学やインターンシップの状況

問6 貴社では高校生を対象とした職場見学やインターンシップを実施していますか。

【企業】



—企業が高校生を対象にした職場見学やインターンシップの実施については、「実施する予定はない」が65.3%と高い—

企業が高校生を対象にした職場見学やインターンシップの実施について、「実施する予定はない」が65.3%と最も多く、「実施している」の27.4%、「今後実施する予定である」の2.1%を大きく上回っている。

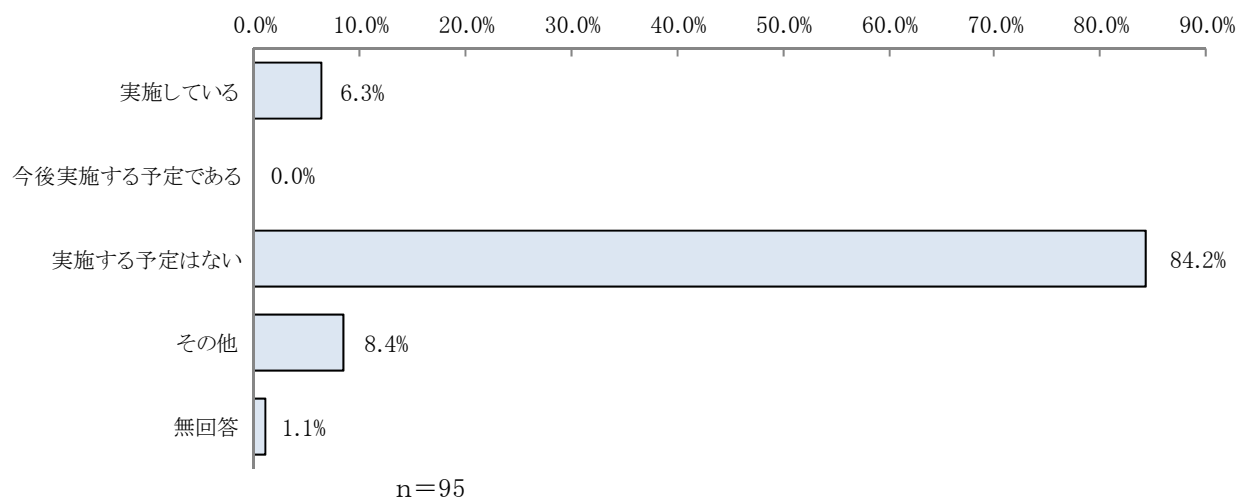
< 前回調査 (H23) との比較 >

- ・「実施している」 13.3ポイント増加 (14.1% → 27.4%)
- ・「今後実施する予定である」 1.1ポイント減少 (3.2% → 2.1%)
- ・「実施する予定はない」 11.6ポイント減少 (76.9% → 65.3%)

3-2 教員を対象にした職場見学や研修の状況

問7 貴社では教員を対象とした職場見学や研修を実施していますか。

【 企業 】



—企業が教員を対象にした職場見学や研修の実施については、「実施する予定はない」が84.2%と非常に高い—

企業が教員を対象にした職場見学や研修の実施について、「実施する予定はない」が84.2%と最も多く、「実施している」の6.3%を大きく上回っている。

< 前回調査 (H23) との比較 >

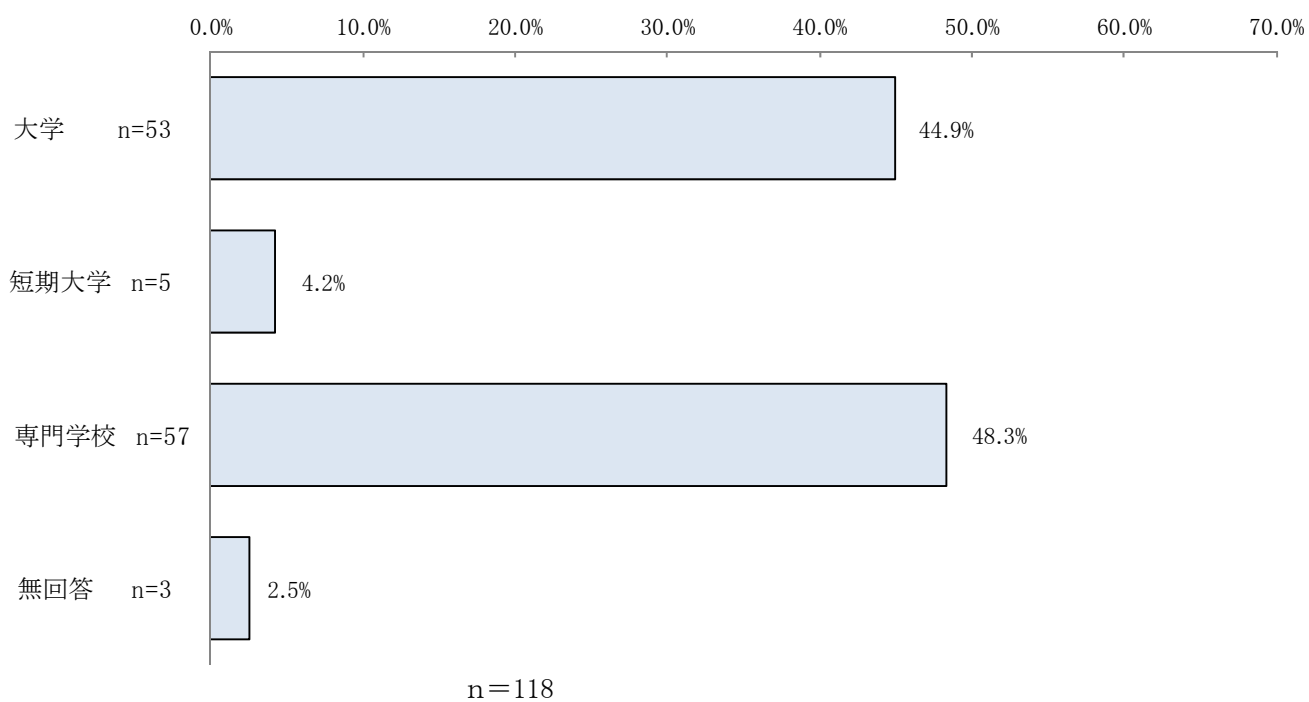
- | | | |
|----------------|------------|-----------------|
| ・「実施している」 | 1.2 ポイント増加 | (5.1% → 6.3%) |
| ・「今後実施する予定である」 | 3.2 ポイント減少 | (3.2% → 0%) |
| ・「実施する予定はない」 | 1.1 ポイント減少 | (85.3% → 84.2%) |

〔東京都内の大学・短期大学・専門学校を対象〕

4 学校の形態

問8 学校の形態を教えてください。

【 学校 】



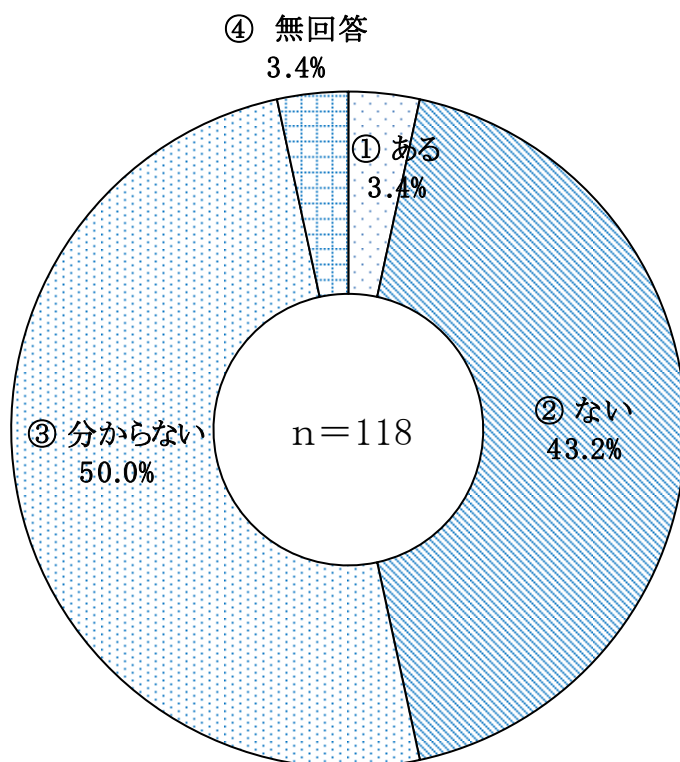
〔東京都内の大学・短期大学・専門学校を対象〕

5 入学してきた学生の印象について

5-1 都立高校卒業生が他の出身生徒と異なる特徴

問9 都立高校卒業生は他の出身生徒と異なる特徴がありますか。

【 学校 】



—都立高校卒業生の他の出身生徒と異なる特徴については、「ない」との回答が43.2%である—

都立高校卒業生の他の出身生徒と異なる特徴について聞いたところ、「ある」が3.4%、「ない」が43.2%との結果となっている。

特徴が「ある」という回答での具体例として、「要領がよく、要所を押さえている。また全体的傾向として GPA や4年間卒業率等、成績の数値が良好である。」「正確な調査を根拠としているわけではないが、東京近郊、特に都立高の出身の学生は本学が教員養成を主たる目的としている大学であることに理解が深く、就職志向もより明確であると感じている」「例えば高校から私立高校、都立高校に各々入学した学生にはさほど違いを感じないが、中高一貫で6年間、高校受験を通過しなかった生徒には違いを感じる。具体的には、生徒の時間の使い方が違うと思う。」「私立校とは異なる自由な気風がある」との意見があった。

< 前回調査 (H23) >

「ない」との回答が45.0%

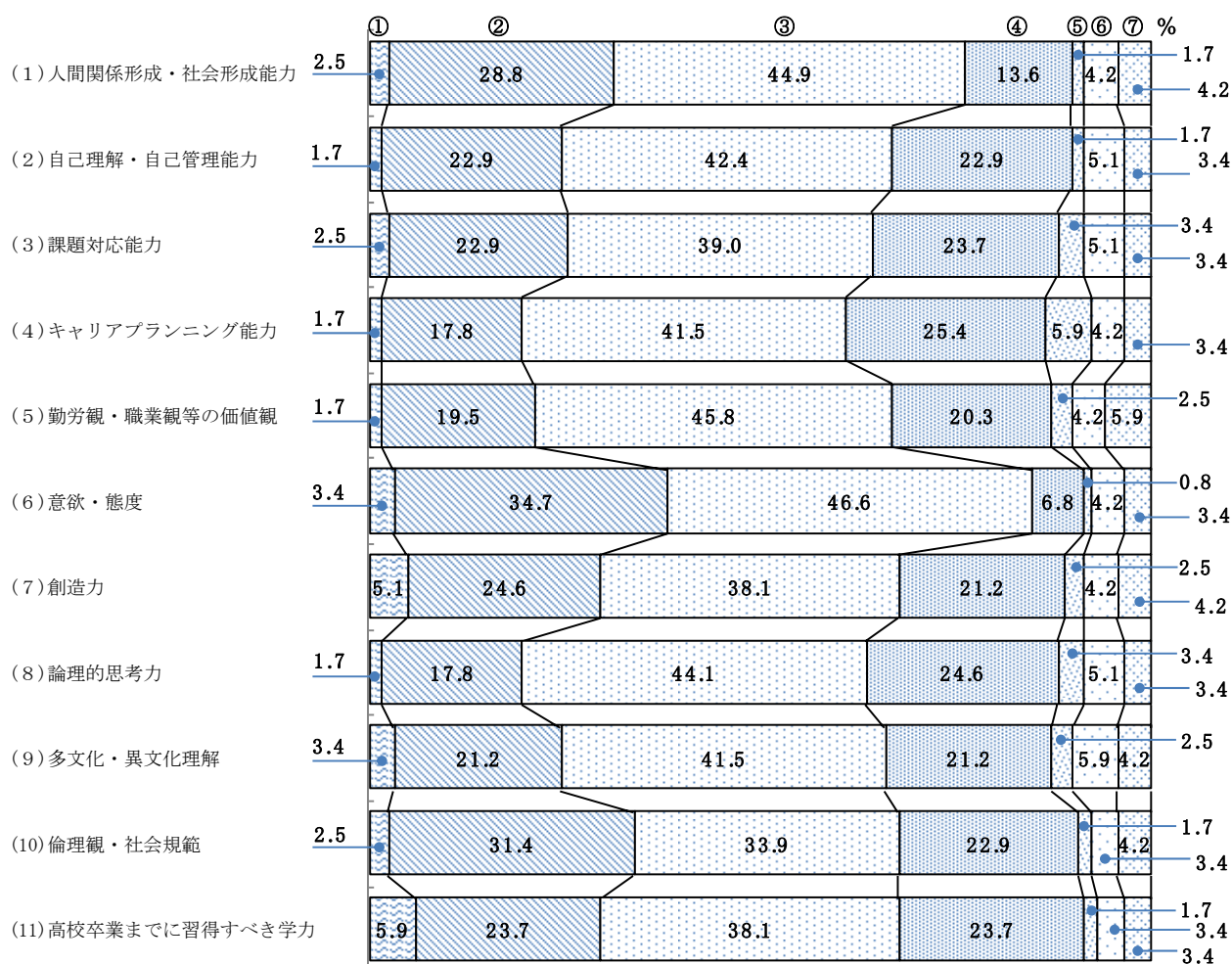
5-2. 近年入学した学生の能力について

問10 近年入学した学生について、次の能力は備わっていると感じますか。

(項目ごとに一つ〇)

【学校】

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
備わっている	多少備わっている	どちらとも言えない	あまり備わっていない	備わっていない	分からない	無回答



n=118

—入学した学生に備わっていると感じる能力については、「意欲・態度」が38.1%と多い—

「意欲・態度」について、「備わっている」「多少備わっている」を合わせた肯定的意見が38.1%と最も多く、次いで「倫理観・社会規範」の33.9%、「人間関係形成・社会形成能力」の31.3%、「創造力」の29.7%、「高校卒業時に習得すべき学力」の29.6%となっている。

一方、「備わっていない」「あまり備わっていない」を合わせた否定的意見では、「キャリアプランニング能力」が31.3%と最も多いが、肯定的意見の多かった「高校卒業までに習得すべき学力」も25.4%と多くなっている。

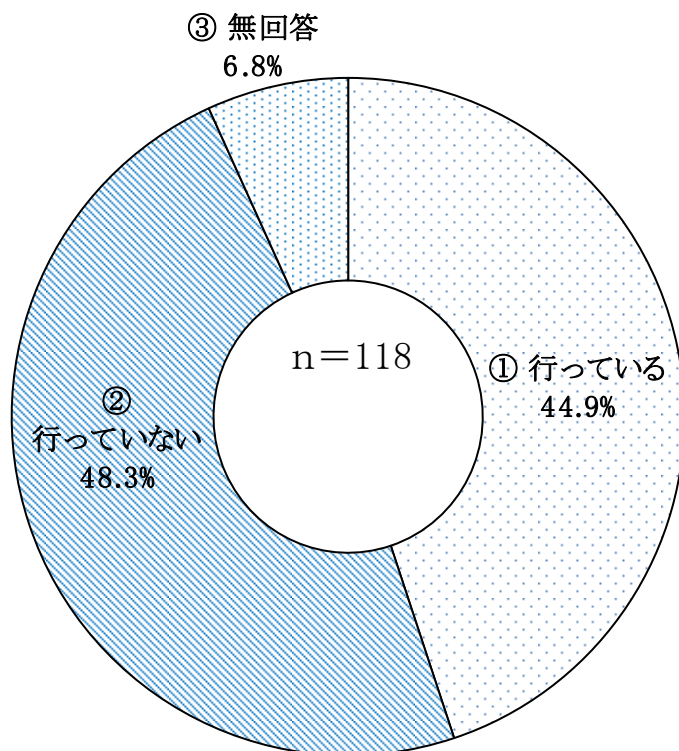
<前回調査 (H23) >

「意欲・態度」が43.1%と多い。

5-3 高校で学習すべきことを習得していない学生への補習について

問11 高等卒業までに学習すべきことを習得していない学生に対して、補習等の措置を行っていますか。

【 学校 】



— 高校卒業までに学習すべきことを習得していない学生への補習等の措置については、「行っている」学校は 44.9%と半数近くである—

補習等の措置について、「行っていない」学校は 48.3%であるのに対し、「行っている」学校は 44.9%と、半数近くの学校が実施している。

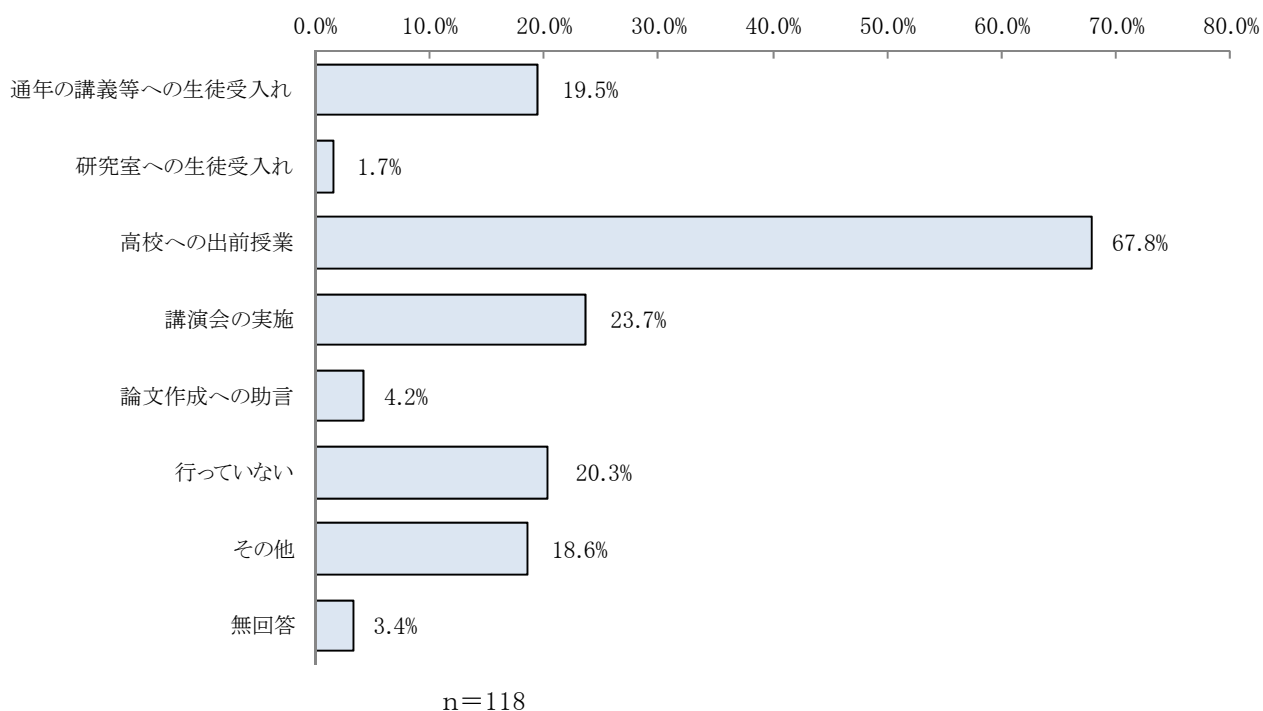
< 前回調査 (H23) との比較 >

・「行っている」	2 ポイント減少	(46.9% → 44.9%)
・「行っていない」	1.7 ポイント減少	(50.0% → 48.3%)
・「無回答」	3.7 ポイント増加	(3.1% → 6.8%)

5-4 高校との連携について

問 12 高校との連携について、どのような活動を行っていますか。(複数回答可)

【 学校 】



—高校との連携についての活動では、「高校への出前事業」が67.8%と多い—

高校との連携についての活動では、「高校への出前事業」が67.8%と最も多く、次いで「講演会の実施」の23.7%、「通年の講義等への生徒受入れ」の19.5%となっている。

一方、「行っていない」が20.3%となっている。

※ 前回調査（H23）では項目なし

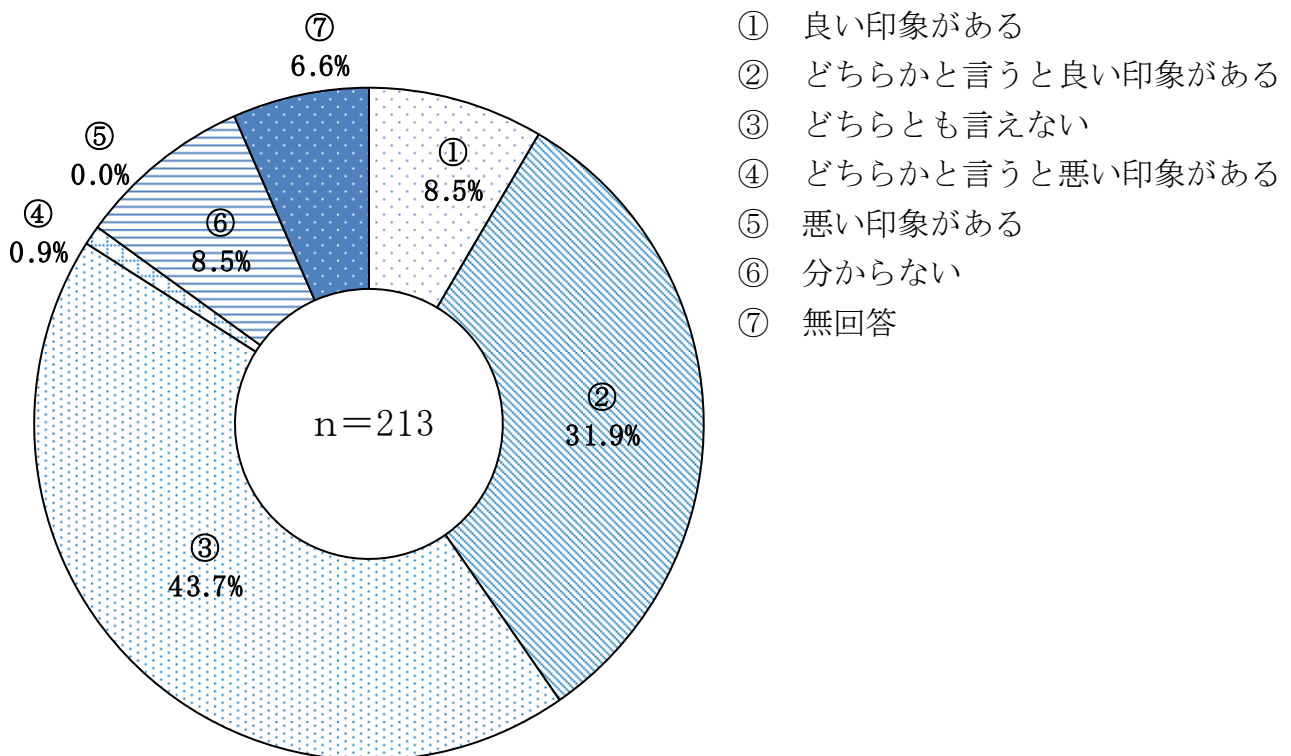
〔企業と大学・短期大学・専門学校を対象〕

6. 都立高校の印象について

6-1 都立高校の印象

問 13 都立高校についてどのような印象をお持ちですか。(一つに○)

【 企業・学校 】



— 都立高校の印象については、肯定的印象が 40.4% と多い —

都立高校の印象について、「良い印象がある」「どちらかと言うと良い印象がある」を合わせた肯定的印象が 40.4% と多い。

一方、「悪い印象がある」「どちらかと言うと悪い印象がある」を合わせた否定的印象は 0.9% となっている。また、「どちらとも言えない」が 43.7% となっている。

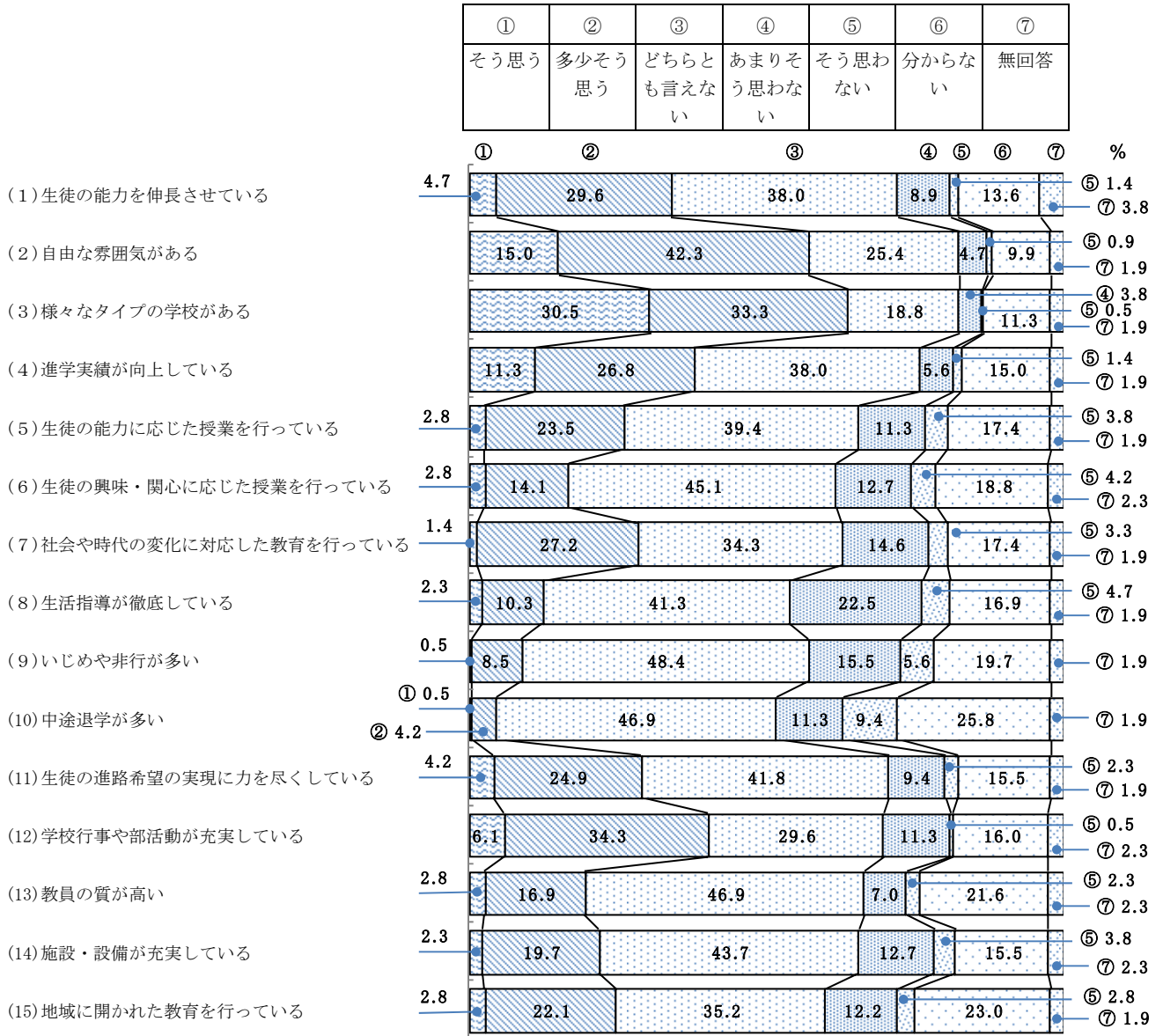
< 前回調査 (H23) との比較 >

・「肯定的印象」	1.2 ポイント増加	(39.2% → 40.4%)
・「否定的印象」	2.9 ポイント減少	(3.8% → 0.9%)
・「どちらとも言えない」	3.5 ポイント減少	(47.2% → 43.7%)

6-2 都立高校の項目別印象

問 14 都立高校に対する印象は、それぞれどれに該当しますか。(項目ごとに一つ〇)

【 企業・学校 】



n=213

一項目別に見ると、「様々なタイプの学校がある」の肯定的印象が63.8%と多い

「様々なタイプの学校がある」について、「そう思う」「多少そう思う」を合わせた肯定的印象が63.8%と最も多く、次いで「自由な雰囲気がある」の57.3%、「学校行事や部活動が充実している」の40.4%となっている。

一方、「そう思わない」「あまりそう思わない」を合わせた否定的印象は「生活指導が徹底している」が27.2%と最も多くなっている。

< 前回調査 (H23) >

「様々なタイプの学校がある」の肯定的印象が66.8%と多い。

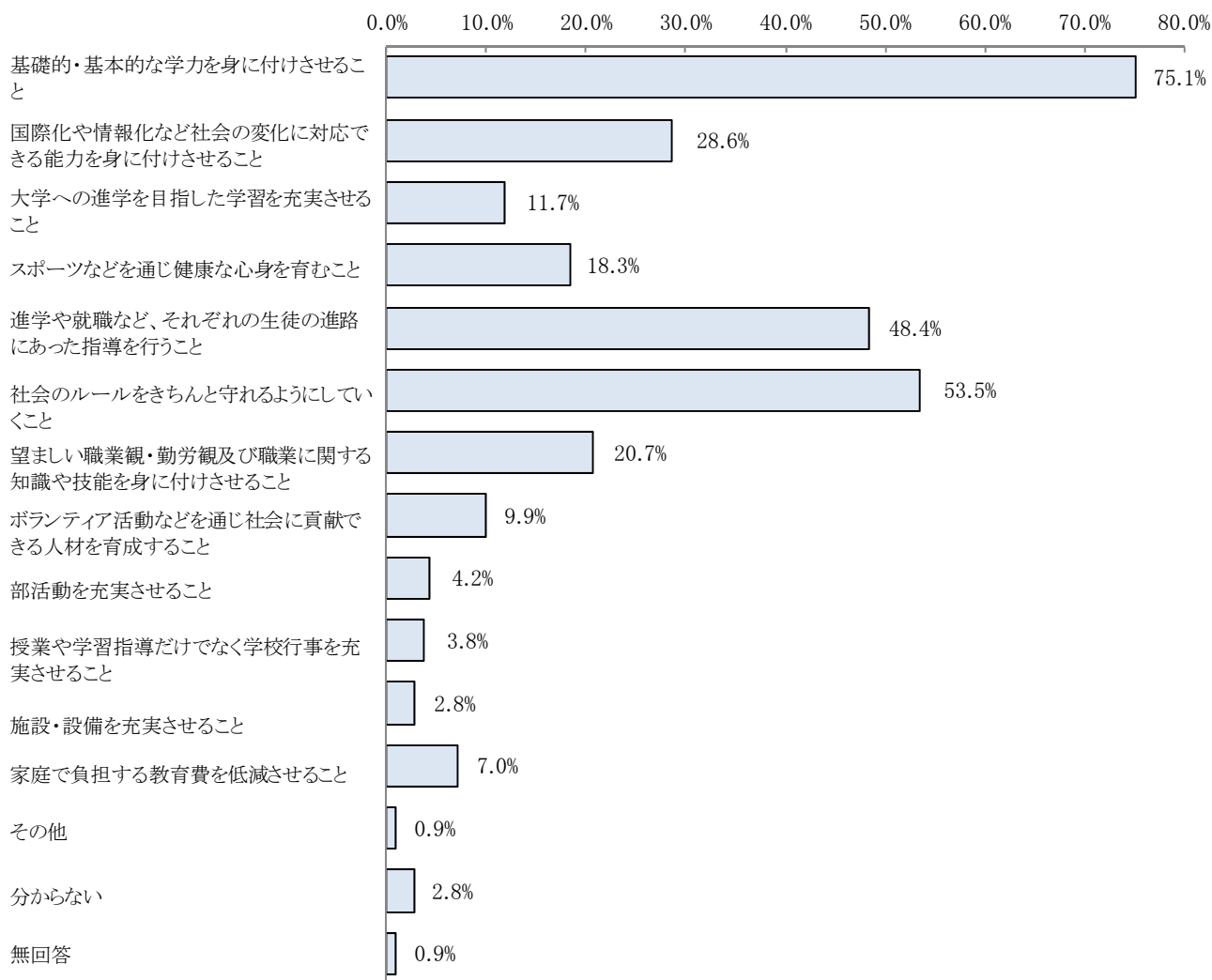
〔企業と大学・短期大学・専門学校を対象〕

7 都立高校の役割について

7-1 都立高校に期待する役割

問 15 都立高校に特に期待することは次のどれですか。(三つに〇)

【 企業・学校 】



n=213

—都立高校に期待する役割は、「基礎的・基本的な学力を身に付けさせること」が75.1%と多い—

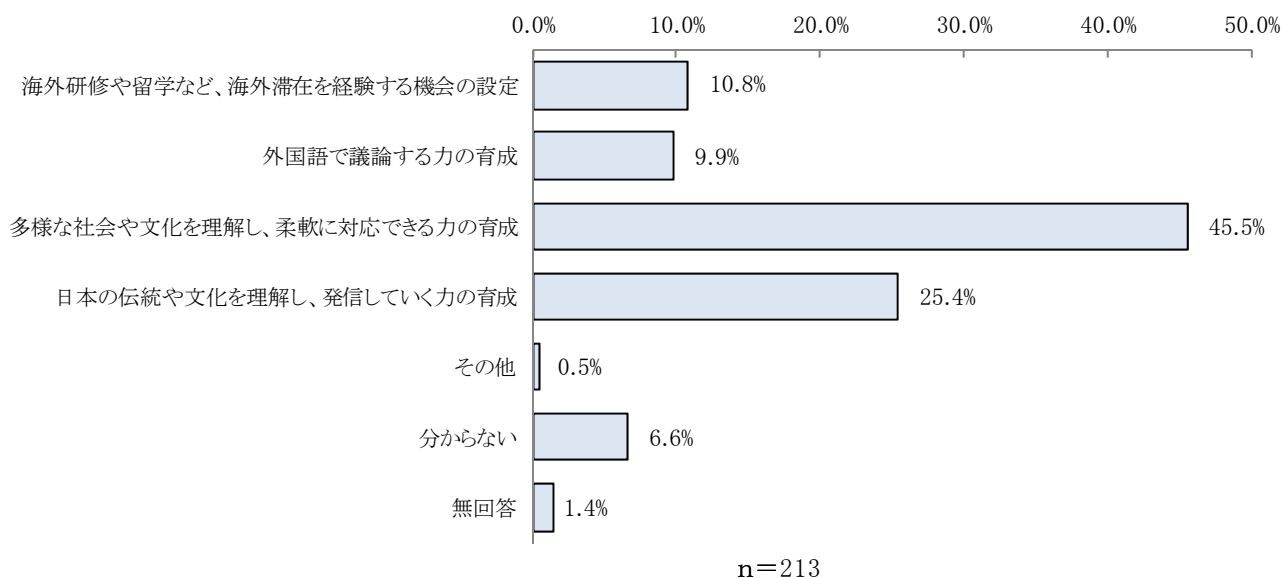
企業・学校が都立高校に期待する役割は、「基礎的・基本的な学力を身に付けさせること」が75.1%と最も多く、次いで「社会のルールをきちんと守れるようにしていくこと」の53.5%、「進学や就職など、それぞれの生徒の進路にあった指導を行うこと」48.4%となっている。

< 前回調査 (H23) >

「基礎的・基本的な学力を身に付けさせること」が76.6%と多い。

問 16 社会のグローバル化に伴い、都立高校では国際理解教育等を実施していますが、今後更に充実させるべき点はどのようなことだと思いますか。(一つに○)

【 企業・学校 】



—国際理解教育等の実施に関して充実させるべき点としては、「多様な社会や文化を理解し、柔軟に対応できる力の育成」が45.5%と多い—

国際理解教育等で更に充実させるべき点として、「多様な社会や文化を理解し、柔軟に対応できる力の育成」が45.5%と多く、次いで「日本の伝統や文化を理解し、発信していく力の育成」の25.4%、「海外研修や留学など、海外滞在を経験する機会の設定」の10.8%となっている。

※ 前回調査（H23）では項目なし

〔企業と大学・短期大学・専門学校を対象〕

8 これからの都立高校はどうあるべきか（自由意見）

問 17 これからの都立高校はどうあるべきか、率直な御意見をお聞かせください。

【 企業・学校 】

これからの都立高校はどうあるべきかについて自由意見を聞いたところ、回収数 213 票のうち、本問について回答のあったものは 53 票（企業：19 票、学校：34 票）である。

多かった意見は、都立高校の教育に関する意見である。
都立高校の教育に関し、企業からは

- ・都立高一校一校がもっと特色を出すべき。
- ・国際化が進む中、グローバルな対応を望む。
- ・社会に直結した教育プログラムが望ましい。

といった意見が多く寄せられた。

一方、学校からは企業からの意見に加えて

- ・柔軟な心を持った生徒の育成
- ・依存的、受け身的な学校生活から、「自らの生き方を決め、前に進む力」を養ってほしい。
- ・高校生のうちに基礎学力（特に数学）を徹底的に身に付けてほしい。

といった意見が寄せられた。